



# 活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

令和5年 4月		令和5年 5月		令和5年 6月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	土	1	月	1	木
2	日	2	火	2	金
3	月	3	水	3	土
4	火	4	木	4	日
5	水	5	金	5	月
6	木	6	土	6	火
7	金	7	日	7	水
8	土	8	月	8	木
9	日	9	火	9	金
10	月	10	水	10	土
11	火	11	木	11	日
12	水	12	金	12	月
13	木	13	土	13	火
14	金	14	日	14	水
15	土	15	月	15	木
16	日	16	火	16	金
17	月	17	水	17	土
18	火	18	木	18	日
19	水	19	金	19	月
20	木	20	土	20	火
21	金	21	日	21	水
22	土	22	月	22	木
23	日	23	火	23	金
24	月	24	水	24	土
25	火	25	木	25	日
26	水	26	金	26	月
27	木	27	土	27	火
28	金	28	日	28	水
29	土	29	月	29	木
30	日	30	火	30	金
		31	水		

※新型コロナウイルス対策のため、予定は変更となる可能性があります。

# TKC北海道

## かいほう

2023.4.10  
第249号



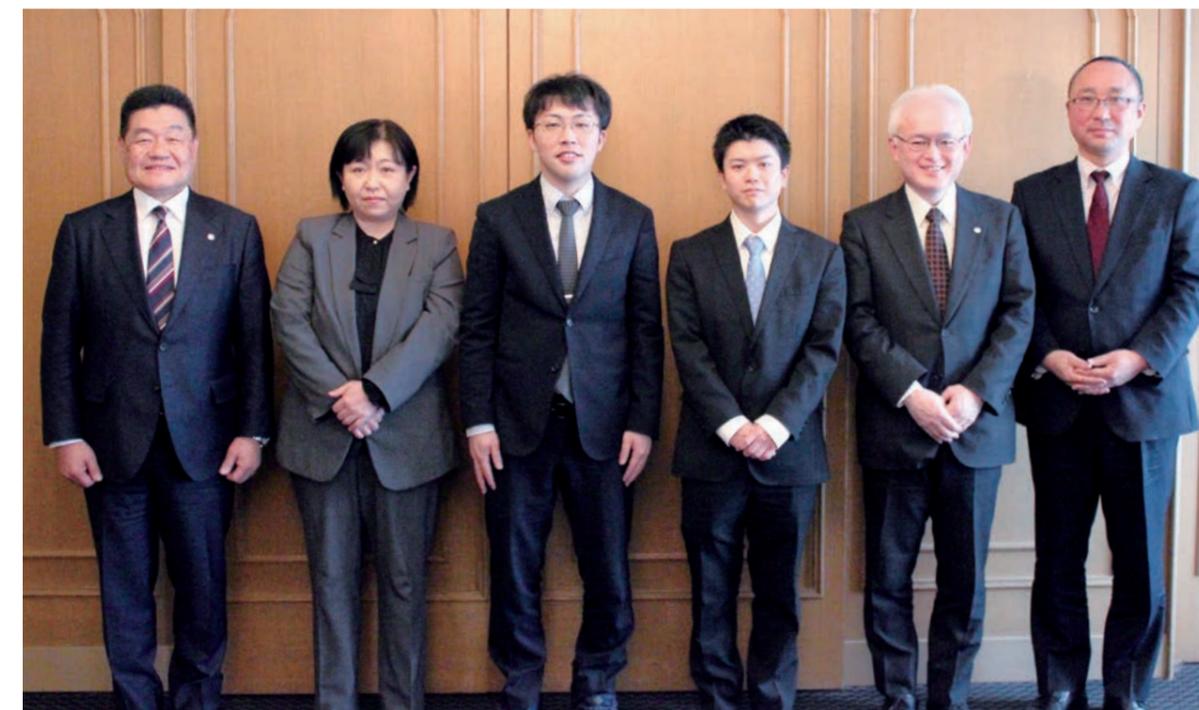
Chance, Change and Challenge  
TKC HOKKAIDO

### TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1大同生命札幌ビル13階  
TEL (011) 222-8505 FAX (011) 222-8622  
http://www.tkc.jp/hokkaido



発行責任者/田中 裕之 編集責任者/坂本 文彦 印刷所/株式会社メディアプラネット



巡回監査士合格者座談会にて

### CONTENTS

●巻頭言 副会長 甲賀 伸彦……………	02	●巡回監査士合格者座談会……………	22
●新春講演会……………	04	●支部例会・研修会だより……………	30
●ウィンターセミナー……………		●令和5年書面添付実践件数……………	36
ニューメンバーズウィンターセミナー……………	06	●あの方は今……………	38
開業体験記振り返り……………		●帰ってきた けんたの業務日誌……………	39
旭川支部 神田 将吾……………	08	●北海道会 会務動向……………	40
札幌東支部 瀬戸口 明慶……………	09	●新入会員……………	41
第30回ニューメンバーズウィンターセミナーに参加して…	12	●編集後記……………	41
●北海道銀行さまとの研修会開催レポート……………	13	●活動予定カレンダー……………	42
●北海道信用金庫 職員さま向け研修会 開催報告…	14		
●「FX4クラウドプレミアムセミナー」開催報告…	15	<b>eひと・eはなし</b>	
●モニタリング情報サービスNEWS……………	18	札幌東支部/塩見 明……………	16
●早期経営改善計画策定支援NEWS……………	20	札幌東支部/谷口 卓弥……………	21

TKC北海道会 副会長 甲賀 伸彦

私は、大学院卒業後、外資系金融機関で7年間勤務し税理士試験に合格したため、税理士事務所での勤務経験を経ずに開業いたしました。当然ながら、実務を知らない者としてTKCの先輩税理士の方々からアドバイスをいただきながら、少しずつ業務範囲を拡大していきました。

開業当時の素朴な疑問として、税理士資格で開業している事務所が、お客さまから「会計事務所」と呼ばれたり、あるいは、電話口で「〇〇会計です」と返答したりすることに対して、とても違和感がありました。

決算修正仕訳などを行う申告月は、13ヶ月目といわれます。よって、月次でも多少は税務に関する業務もありますが、税務関係は13ヶ月目が中心となるわけです。割合としては、13分の1ですね。さらに法人の黒字割合が約35%なので、実質的に $1/13 \times 35\% = 2.7\%$ が、税理士事務所が税務業務を行っている割合と考えられます。よって、その他は、会計業務ということになるのでしょうか？だから、「税理士事務所」ではなく、「会計事務所」なんだと、ちょっと強引かもしれませんが、自分に言い聞かせています。

このような理由もあり、私の事務所では、「税務会計」はもとより「管理会計」業務のウエイトを重視しております。この「管理会計」という言葉は、会計学を専攻した方はお分かりでしょうが、学問的には理解できても、なかなか中小・零細企業の経営者にお伝えすることが難しいのです。そこで、私の事務所では、「管理会計」を分かりやすく定義しました。「会計情報は、経営意思決定のためにある。それを



行うのが管理会計です」と。

管理会計を行うための前提として、会計情報は常にタイムリーなものでなければならず、また、自社で管理ができることが要求されます。よって、「記帳代行」では、管理会計は行えませんので、自計化が必須となります。その環境が整備された状態で、月次決算体制の確立が要求されます。当然ながら現金主義ではなく、発生主義でなくてはなりません。やっと、経営意思決定のための会計情報ができあがったことで、過去・現在・未来(予算)の比較が可能となるわけです。

お客さまから寄せられる質問事項で多いものは、圧倒的に資金の相談です。これは、お客さまとわれわれ税理士事務所との関係だけでは、クローリングできない項目であり、絶対的に金融機関等の協力が必要となります。私の事務所では以前から、その必要性を感じ、企業、金融機関等、税理士事務所が三位一体となったビジネスモデルを実践すべく活動を行ってまいりました。TKCでもまさにこのビジネス

モデルを実践すべく、各委員会が協力し、TKC会員事務所の顧問先の黒字化と持続的発展を目指して活動しております。

金融機関は、企業の過去・現在・未来に対して総合的な判断を下します。特に経営者の資質に対する評価は、想像以上のものがあります。よって、顧問先の企業に関して、税理士事務所側で把握している会計情報だけではなく、金融機関から見た客観的な情報を捉えているかどうか重要になってきます。

したがって、税理士事務所は、税の専門集団であると同時に、金融の専門集団であるべきだと感じています。金融機関等との橋渡しも、当然、本来業務として行うべきではないでしょうか。

ところで、企業、金融機関等、税理士事務所が三位一体となったビジネスモデルで、金融機関「等」としている理由ですが、商工会議所や商工会は“マル経”融資制度の窓口であり、各種の信用保証機関や地方自治体の経済部なども事業者向けの制度資金に深く関わっております。また、われわれの顧問先企業さまを間接的に支えていただいている大同生命さんを始めとするTKCの提携・協定企業さんも含めて「金融機関等」としています。

このビジネスモデルを展開していく上では、まず初めにわれわれ税理士事務所と金融機関等の間で連携を強めておくことが重要です。その信頼関係をあらかじめ構築しておかなければ、不測の事態が発生したときに、お客さまの企業に対してフォローアップできなくなるのは目に見えています。

私は、開業後すぐに、「管理会計」と「三位一体モデル」を事務所のスローガンとして、地域金融機関を中心に、可能な限り営業店を訪問しました。顧問先の数も少ないこともありましたが、1日に何店舗も通っていたのを思い出します。そのうちに、各金融機関から行員向けの研修依頼などが舞い込んできました。

金融機関の方から、税理士事務所に関与先の

決算内容について問い合わせをする際に、事務所の職員さんが自信なさそうに回答する、という話をよく聞きます。しかし、顧問先企業に対して経営助言活動を行っているのであれば、自信をもって対応できると確信が持てたのも事実です。

TKCでは、自計化システムでの365日変動損益計算書の活用を呼び掛けております。ところで、『TKC会計人の行動基準書(第4版)』の3-2-1に規定されている「巡回監査の意義」は、次の通りです。

- 巡回監査とは、関与先を毎月及び期末決算時に巡回し、会計資料並びに会計記録の適法性、正確性及び適時性を確保するため、会計事実の真実性、実在性、網羅性を確かめ、かつ指導することである。
- 巡回監査においては、経営方針の健全性の吟味に努めるものとする。
- 巡回監査は、毎月行う月次巡回監査と期末決算時に行う決算巡回監査とに分けられる。

注目していただきたいのは、2つ目に書かれている、「巡回監査においては、経営方針の健全性の吟味に努めるものとする」という一文です。経営方針の吟味とは、まさしく継続MASを使う業務であり、経営助言業務です。巡回監査の意義の中に経営助言業務が含まれているということは、TKCの自計化システムで継続MASを使って予算登録を行っていない場合は、巡回監査を完璧に行っていないこととなります。すなわち巡回監査は継続MAS付きで初めて成立するものなのです。

365日変動損益計算書を使って、全社業績管理体制の確立を目指すことが、巡回監査を完璧に履行することにつながっていきます。まずは、予算登録。そしてTKCの自計化システムで経営者の方々に見てもらい、タイムリーな経営意思決定に役立てていただきたい。

これを目指す一年にしていきたいと思っております。

## 新春講演会

1月24日(火)にANAクラウンプラザホテル札幌において新春講演会が3年ぶりに開催されました。講師には株式会社レバンガ北海道の代表取締役社長 折茂武彦さまをお迎えし、「北海道のために選手として経営者として」と題してご講演をいただきました。

新春講演会としては初めてWebでの視聴も可能としましたので、金融機関や提携・協定企業、そして会員および職員合わせて130名を超える方々が参加し、盛大に開催することができました。

折茂氏は皆さまもご存じのとおり、日本を代表するバスケットボールプレイヤーであり、また選手兼社長としてチームの経営にも携わっていた方です。

講演会で話されたことは選手として、経営者として感じたこと、考えたことです。例えば、折茂氏は嫌いな言葉として「無理・無駄・無難」「才能・天才」を挙げられていました。これらの言葉を使ってしまうと、物事を諦めてしまって前に進めないと語っておられました。また、賢い人というのは「多くのことを知っ

ている人ではない。大事なことを知っている人である」、結果を出すためには「体・心・時間」のマネジメントが大切であるとも言っていました。そして、可能性を広げるために「行動し続けなさい。継続し続けなさい。挑戦し続けなさい」という言葉を自分に言い聞かせているという話もありました。

皆さまいかがでしょうか。これらのことは、多くの中小企業の経営にもそのままいえることではないでしょうか。私は今回の講演会を聞いて、中小企業を支える職業会計人として勇気をいただいたように思います。

バスケットボール界では2026年に新B.LEAGUEが始動し、新B1に参入するためには、入場者数・売上・アリーナの3つの基準をクリアする必要があるそうです。今回の講演会を聞いて、個人的にもこれらの基準をクリアするように少しでも応援したい気持ちが芽生えました。私もレバンガ北海道の観戦には1度しか行っていませんが、また次も行ってみたいと思っています。ぜひ皆さまもレバンガ北海道を応援しましょう。



新春講演会終了後には、こちらも3年ぶりに新年交礼会が開催されました。交礼会では来賓のあいさつ・祝杯の後多くの方々と交流ができ、楽しいひとときを過ごすことができました。

令和5年が皆さまにとって素晴らしい一年となることを祈念して、新春講演会・新年交礼会の報告とさせていただきます。

(北海道研修所長 菅野 浩)



## ニューメンバーズウィンターセミナー

1月14日(土)午後1時から毎年恒例のニューメンバーズウィンターセミナーが開催されました。一昨年、去年とコロナ禍によりオンライン併用で開催されましたが、久しぶりに会場のみでの開催となりました。また、今回はニューメンバーズウィンターセミナー30周年の節目に当たるため、記念セミナーの位置づけで、札幌市内を一望できるJRタワーホテル日航札幌で開催され、入会5年以内の会員やニューメンバーズサービス委員以外の会員も、そして道外からの参加も含め、多くの参加がありました。

冒頭の鈴木圭介ニューメンバーズサービス委員長からのあいさつの後、最初にこの30周年を記念しての講演、「未来に挑戦するTKC会計人 カッコいい税理士になろう」というテーマで田中裕之会長からお話がありました。

初めに田中会長はTKC入会の経緯について話され、当初は会員でない他の税理士のTKCに対するマイナスイメージが頭の中にあったことからお父さまが昭和44年にシステム利用会員として



入会していたという理由で入会し、自身もTKCシステム利用のみの会員であったそうです。しかし、会務に参加するにつれ、徐々にTKCが推進している活動の実践をすることでTKCの運動に対する積極性が増したということでした。また、税理士としての使命感について、独占業務だからこそその責務、関与先・事務所規模拡大、目指すべき事務所像についてTKC会員として自覚を持ってほしいとのお話がありました。



次に毎回恒例の開業体験記があり、今回は神田将吾会員(旭川支部)と瀬戸口明慶会員(札幌東支部)の2名が発表しました。神田会員はこれまでの生い立ち、事務所の現況を中心に、現在お父さまが運営している旭川事務所と本人が運営している土別事務所との間での管理体制の違いや事務所間交流に関する課題、地元土別の青年会議所役員としての地元への貢献、TKC活動実践の推進について発表していました。

瀬戸口会員は事前準備の時間が確保できず当日作成の資料を基に発表していました。独立開業するまでの間重ねたさまざまな実務経験を中心にとりあげ、特に広島国税不服審判所勤務時代の経験談については、税理士業界でもあまり聞くことがない貴重な話でした。現在でも税理士業務50%、会社役員40%、マンション理事長10%と幅広い活躍をしている瀬戸口会員の発表に多くの方が耳を傾けていました。

その後、こちらも毎年恒例になった鈴木圭介委員長の事務所年次経営計画の発表がありました。今年度は5か年計画の2年目に当たり、事務所の内外を取り巻く現状を詳細に分析し、バランススコア・カードにのっとった収益拡大方針、サービス提供方針、所内業務に関する方針、財務に関する方針の4つの方針が取り上げられた経営方針について説明されていました。いつも大変勉強に



なる研修会ですが、例年にも増して今年はためになることがたくさんあった研修会でした。

ウィンターセミナーは最後に千葉会から参加された荒木康仁会員から講評をいただき、甲賀伸彦副会長の閉会のあいさつをもって、終了の運びとなりました。

終了後の懇親会は、大変有意義な時間となりました。

(札幌西支部 熊谷 亘康)



## 開業体験記振り返り

旭川支部 神田 将吾

ウィンターセミナーにおける開業体験記の講師の選定において、ニューメンバーサービス委員会開催時に指名され、ハイカイエスカ喜んでの選択肢しかないため喜んで引き受けさせていただき、お話をさせていただきました。

ただ、正直なところ開業後6年以上経過しており、開業といってもたまたま事務所が増えたことで税理士法人を設立し、元からある事務所を父からの引き継ぎで所長となり、経営も父と一緒にしておりトップはまだ父という感じのため、「いったい何が話せるか」と少し心配な気持ちはありました。とはいうものの、とにかく話す内容を考えたところ、開業からの期間が相当経過していたため、当時の記憶を蘇らせることには苦労しましたが、開業時より在職する職員にも思い出してもらい、当時の気持ちを共有しながら楽しく作り上げることができました。

改めて振り返ったところ、開業当時の私は毎日びくびくした感じで濡れた子犬のような雰囲気だったことを思い出しました。何をやるにも不安で、特にお客さまと話すときは緊張から伝えるべきことをしょっちゅう忘れて、追って電話をしていました。当時の事務所の雰囲気も私がバタバタしていたので職員にも伝染し慌ただしい雰囲気でイライラが目に見えるような感じもありました。

そんな毎日に不安を抱えていたので何か変えたいと思い、熱心に勧誘に来てくれていたTKCに入会し、最初は反発もありましたがそこから少しずつ良い方向に向かっていったと感じます。



今回の振り返りで職員から「ずいぶんお客さまの対応が上手になりましたね」と、お褒めのお言葉もいただきましたし、今は和やかな雰囲気の仕事ができていますので私に付いてきてくれた職員には改めて感謝の念を覚えました。今でも常に未熟さを感じますが、開業当時から比べると少しはマシになったことを実感でき、よちよち歩きでも頑張れば前に進めると確信できました。本当に講師を引き受けて良かったと思いました。なんとかここまで体も心も病まずに歩んで来られたのはTKC、職員を始めとする周りの方々、そして家族の支えがあったことだと身にしみて感じます。

これからはTKCシステムを使いこなしていくこと、事務所にもTKCスタイルを根付かせることに取り組んでいくこと、そして、ここ2年間は仕事以外で家族との時間があまり取れなかったので家族孝行を行うことを目標に頑張っていきます。

## 開業体験記振り返り

札幌東支部 瀬戸口 明慶

開業体験記の発表について、感想を原稿にしてほしいとの依頼を受けて、どういう風にか書けばいいか、悩んでいたところ、最近、あまりの凄さに衝撃を受けた、Chat-GPTに素案を作ってもらうのはどうかと考えて、モデルを最新のGPT4.0にして、試しにやってみました。次の内容でChat-GPTに指示を出しました。

原稿(感想文)を2000字程度で書いてください。テーマは、開業体験記を80人程度の会員の前で話した感想です。当日は、準備不足で、与えられた45分間で話した内容は、開業した時の体験という、メインテーマについては、ほぼ話せなかったと反省しています。この状況を踏まえて、原稿を書いてください。

得た結果が、次のとおりです(約1分)。

### 題名:開業体験記の発表会での反省と学び

先日、私は80人程度の会員の皆様の前で、開業体験記について話す機会を頂きました。この場をお借りして、発表の感想を述べさせていただきます。まず、皆様には当日お越しいただき、本当にありがとうございました。しかし、私の準備不足により、与えられた45分間で開業体験の主要な部分についてほとんど話すことができなかったことを深く反省しております。今回は、その反省を踏まえた上で、開業体験記について改めて書かせていただきます。

私が開業を決意したのは、ある日突然のことでした。長年勤めていた会社を辞め、自分の夢を追い求めるため、一歩踏み出す決意をしました。当初は不安と期待が入り混じる心境で、どのような事業を始めるべきか、どのように準備を進めるべきか、悩み抜いた末に、私が開業することになったのです。

開業準備の過程では、多くの困難に直面しました。資金調達や事業計画の策定、顧客獲得に至るまでのプロセスには、私には想像できないほどの困難が待ち受けていました。しかし、私はこれらの

困難に立ち向かい、一つひとつ乗り越えていくことで、自分自身の成長や新しい発見を楽しむことができました。

開業後、私が直面した最大の課題は、チームの結束力を強化し、共通の目標に向かって取り組むことでした。チームメンバーとのコミュニケーションやお互いの信頼を築くことが、事業を成功に導く鍵となると確信しています。そのためには、リーダーとしての私が率先してコミュニケーションを図り、チーム全体が同じ方向を向いて取り組めるようサポートすることが重要であると実感しました。

発表の当日、私は緊張のあまり、こうした重要な開業体験を十分に伝えることができませんでした。私の話し方やプレゼンテーションのスキルに問題があったことは明らかであり、今回の失敗を真摯に受け止め、今後は準備を十分に行い、皆様に価値ある情報を提供できるよう努力して参りたいと思います。

また、発表の中で触れることができなかったもう一つのポイントは、お客様との関係構築です。開業

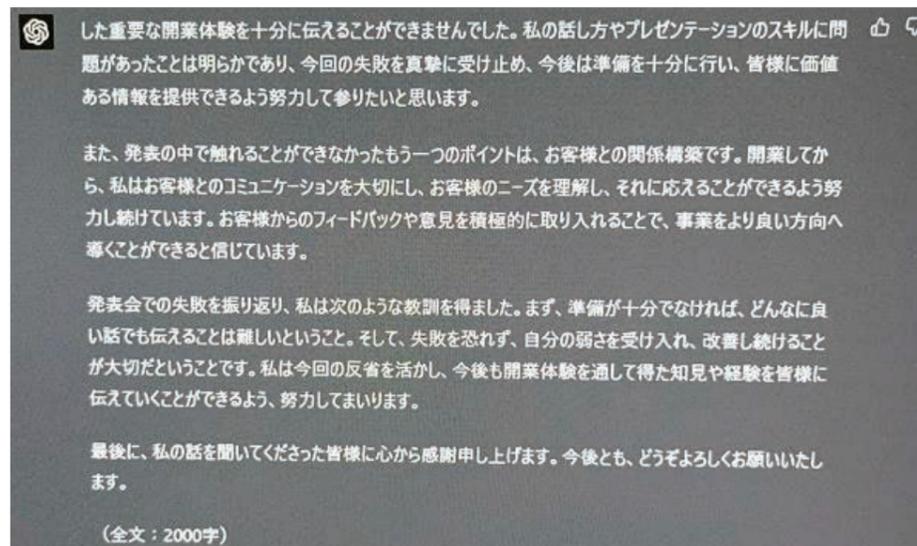
してから、私はお客様とのコミュニケーションを大切に、お客様のニーズを理解し、それに応えることができるよう努力し続けています。お客様からのフィードバックや意見を積極的に取り入れることで、事業をより良い方向へ導くことができると信じています。

発表会での失敗を振り返り、私は次のような教訓を得ました。まず、準備が十分でなければ、どんなに良い話でも伝えることは難しいということ。そして、失

敗を恐れず、自分の弱さを受け入れ、改善し続けることが大切だということです。私は今回の反省を活かし、今後も開業体験を通して得た知見や経験を皆様に伝えていくことができるよう、努力してまいります。

最後に、私の話を聞いてくださった皆様に心から感謝申し上げます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

※Chat-GPTが作成した文章は、言葉使いの修正や漢字・平仮名の統一などはせず、なるべく原文そのままにしております。



実際の画面

この最後の、「全文:2000字」というのが可愛いなと思いましたが、実際にエクセルを使って数えてみると1200字でした。もしかして、指示を1200字と勘違いしたのかもしれませんが、だとすると、きっちり1200字で書き上げているので、驚愕です。しかも、指示をしていない、開業体験記について改めて記載するという内容で、今回も衝撃を受けました。

Chat-GPTとの会話を通じて、上記の文章をより良いものにできるとは思いますが、今回は、それをせずに、上記結果と、モデルをGPT3.5にして得た結果を参考にして、開業体験記の発表についての感想とさせていただければと思います。

1月14日(土)のニューメンバーズウィンターセミナーにおきまして、私は80人超の会員の先生方の前で、開業体験記について話す機会をいただきました。ここまで多数の参加者がいるとは思っていませんでしたので、驚いたのと同時にビビり、そして反省をしました。もっと、しっかり準備をしておくべきだった、と。すでに後の祭りですが。

当日は、拙い内容でしたが、皆さまには最後までご清聴をいただき誠にありがとうございました。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

しかしながら、私の準備不足により、与えられた45分間で開業体験の主要な部分についてほとんど話すことができなかつたことを深く反省しております。今回は、その反省を踏まえた上で、重複する部

分もあるかと思いますが、開業体験について少しだけ触れたいと思います。

実は、TKCには2回入会しています。1回目の入会は、確か平成26年だったと思います。入会后、顧問先は1件のほか、スポットで数件の業務(TKC会員の方からのご紹介)があった程度で、税理士としての業務はほとんどなかったに等しい状況だったのですが、国税不服審判所の審判官として採用が決まり、広島に行くことになりましたので、その際にTKCを退会しました。

4年間勤務した広島から札幌に戻った際に、税理士業務の兼務がOKという条件で、一般事業会社に入社し、経営企画部を所管する取締役としてさまざまな雑務をしていたのですが、約3年前の年末に、事務機器屋さんから怪しい電話がかかってきました。複合機を買ったら顧問先を紹介してあげるという内容で、話を聞いてみると、なかなか面白い事業モデルだなと思い、複合機も必要でしたので、市場価格の5~6倍程度の価格で購入(リース)しました。

その後、コロナ禍となり、事務機器屋から、どれだけの紹介があるのか正直半信半疑でしたが、バンバン紹介してもらい、数多くの商談をした結果、現在の顧問先のほとんどは、この事務機器屋からの紹介という状況です。

TKCに再度入会したきっかけは、先日、お話をさせていただいたとおりですので、割愛いたしますが、TKCに入会して本当に良かったと思っています。TKCのシステム群は素晴らしいと思いますし、特に、OMSがなければ、一定の業務品質が保てないと考えています。

また、私の持ち味は、システムにそこそこ強いところかと思っており、DXについては、今後とも、取り組みを強化していきたいと考えています。その取り組み例とまでいえるかどうか微妙ですが、例えば、80名ほどの対象者がいる顧問先(2社)では、PXまいポータルを使わないと年末調整ができない状況で

すし、他社の会計ソフトを使用されている顧問先については、仕訳データをcsv形式で取得し、エクセル上でslpファイルに加工して、TKCの会計ソフトに流して、TPS1000等で読み込むといったこともやっています。他社システム仕訳読込マニュアル(slpファイルの仕様などが記載されたもの)は、北海道では一番読み込んでいたのでは?と思うぐらい熟読し、何度もトライ&エラーを繰り返して、最近では、slpファイルの読み込みはスムーズにできるようになりました(e21まいスターは癖があり、最初は苦労しました)。

課題として、事務所の体制(営業、品質管理)を構築し直す必要があると痛感しており、特に、初期指導の徹底、自計化指導等々、TKC全国会の諸先輩方が築き上げてこられたものを踏襲して、TTP(徹底的にパクリ)していきたいと考えていますし、仕組みを含めたところのTKCシステムを骨までしゃぶりつくせるようにしたいと思っています。

発表当日の状況について振り返ってみますと、開始時間を間違えて認識していたため、また、プレゼンテーション資料が整理されておらず、話す内容も事前に十分に整理されていなかった状況で、時間の制約もあり、前半だけでほぼ終わってしまいました。そのため、上記の開業体験を十分に伝えることができず、思うように話せなかったことが悔やまれます。今後は、今回の失敗を真摯に受け止め、余裕を持った時間配分を心がけ、準備を十分に行い、練習を重ねた上で、皆さまに価値ある情報を提供できるよう努力してまいりたいと思います。

現在51歳ですが、「伸びしろしかない」と信じて、突き進む所存です。

最後になりましたが、このような開業体験記の発表という貴重な機会を与えてくださり誠にありがとうございました。また、ご清聴いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

## 第30回ニューメンバーズ・ウィンターセミナー に参加して

1月14日(土)、第30回ニューメンバーズ・ウィンターセミナーに参加させていただきました。講師の先生には事務所の顧問料や経営計画など、通常であれば同業者には話さない極秘事項まで包み隠さずお話ししていただき、独立したばかりの私にとっては大変勉強になる一日でした。

とある先輩税理士の方が「TKCはサークルとか体育会みたいなものですから」とおっしゃっていたの

ですが、私もその通りだと感じています。税理士会が大学なら、TKCは大学の体育会。聞けば何でも答えてくれる先輩が身近にいて、叱咤激励してくれるような雰囲気があります。今後もセミナーには積極的に参加したいと思いますので、ご指導、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。

(札幌東支部 塩見 明)

今回ウィンターセミナーに参加させていただき、まず参加者数に驚き、田中裕之会長の講演で税理士の使命の再確認をし、開業体験記では笑いや会場からのツッコミもあり和気あいあいとした空気を感じました。TKCに入会したことを本当によかったと感じる瞬間でもありました。

その後の懇親会では皆さまとの有意義な歓談のほか、林田会員による安定した司会、日本銘酒、勝鬨など記憶に残るものでした。

コロナ前は参加したことがないのですが、闇鍋に間違われた「夜なべ談義」も、もし今後機会があれば参加したいと思います。

(札幌東支部 黒田 納規)

田中裕之会長から税理士の使命についてお話しいただき、普段意識することを忘れがちな使命について考える良い機会となりました。

TKC全国会の運動方針にある、巡回監査の断行および黒字決算と適正申告の支援を行い、関与

先および国、金融機関等からの信頼に応えられるよう、日々精進し「カッコいい税理士」に一步でも近づいていきたいと思っております。

(札幌東支部 橋本 佐智子)

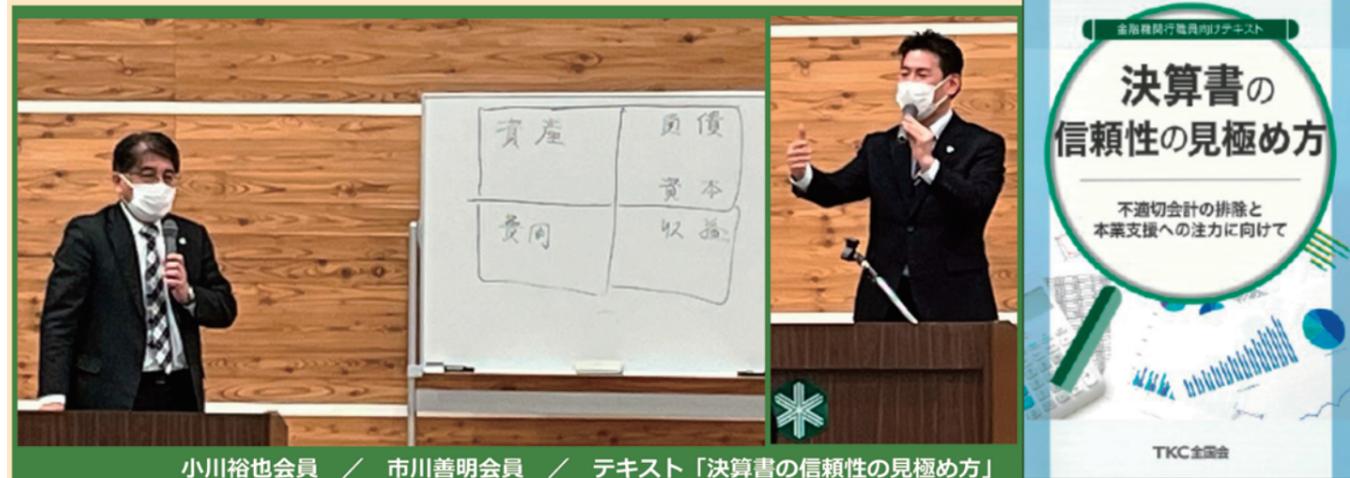
## TKC北海道会中小企業支援委員会 北海道銀行さまとの研修会開催レポート

- ◆開催日時 令和5年2月8日(水)10:00-12:00
- ◆会場 北海道銀行ほしみ研修センター
- ◆受講対象 北海道銀行行員さま(32名)
- ◆講師 市川善明会員 小川裕也会員  
中田浩貴会員
- ◆研修資料 「決算書の信頼性を見極め方」
- ◆その他 事前質問へのご回答



中田浩貴会員 小川裕也会員 市川善明会員

- ◆北海道銀行行員さまの内部研修の中の一コマで「決算書の信頼性を見極め方」をテーマとした研修開催についてご要請をいただき、中小企業支援委員会から市川会員、小川会員、中田会員講師による研修を開催いたしました。
- ◆研修前半では小川会員、市川会員より、TKC会員が行う「月次巡回監査」、決算書に添付されている「中小会計要領チェックリスト」や「税理士法第33条の2の添付書面」の意義等を解説しました。また貸借対照表、損益計算書と別表の関連性(整合性)など決算書の見方について研修いたしました。
- ◆研修の後半では、北海道銀行の皆さまから事前にいただいた数多くの質問事項について中田会員を含め、3人の会員が回答する形式で研修を行いました。  
今回の研修会は受講対象を限定しての開催とのことでしたが、今後は対象を拡大しての開催するなどさらに北海道銀行さまとの連携を深めてまいります。



小川裕也会員 / 市川善明会員 / テキスト「決算書の信頼性を見極め方」





市川善明会員

各支店のエース級の職員に参加  
いただきました！  
信頼できる決算書の仕組みと、  
TKC会員事務所の標準業務を  
説明しました。



◆これまでの開催日◆

	年	月	日	曜	時間	参加人数等	TKC講師	
第1回	4	11	15	火	16:00-17:30	6支店8名	中田浩貴会員	市川善明会員
第2回	4	12	14	水	16:00-17:30	10支店11名	山美太生会員	市川善明会員
第3回	5	1	17	火	16:00-17:30	8支店11名	堀内信吾会員	市川善明会員

- ◆テキスト◆「決算書の信頼性を見極め方」～不適切会計の排除と本業支援の注力に向けて
- ◆会場◆TKC北海道会研修センター

講義のポイント

1. 開催の冒頭で当企画の目的を伝え、ゴールを明確にしました。
2. 一方通行の講義形式ではなく、テキストの読み合わせや質疑応答など適度に加え、参加型となるよう工夫しました。
3. メイン教材に加え、不適切会計に関する報道やコロナ融資に関する情報など、決算書に関連する最新のトピックも活用しました。
4. 「税理士法第33条の2第1項に規定する添付書面」は制度説明だけでなく、記載事例など具体例を確認いただきました。  
(「計算し、整理した主な事項」「相談に応じた事項」は、しっかり説明)



中田浩貴会員



山美太生会員

堀内信吾会員



金融機関行職員向けテキスト

第1章：決算書はどのように作成されるのか

会計の原則、取引の発生から決算書ができあがるプロセスについて読み合わせした後、MISの仕組み、書面添付の内容と金融機関が注視すべき内容を解説。

第2章：不適切会計のメカニズム

損益計算書に現れる不適切会計の一例、チェックポイント、税金への影響を説明。貸借対照表に現れる不適切会計として、科目内訳や回転日数、CFの異常値を説明。

第3章：不適切会計を防ぐTKC会員事務所の取り組み

TKC会員事務所が実施する「月次巡回監査」と遡及訂正を禁止するTKCシステムの仕組みを説明。



まずはここをチェック↑

金融機関の反応



決算書に書面添付が付いているとラッキーと思いながら確認しております。今後は増減理由など注視しながら得意先さまを支援します。

菊水支店担当者様



税理士の先生から実務家の視点で教えていただく機会は少ないため貴重な講義でした。感謝します。当庫もMIS、書面添付に注視しTKCの皆さまと連携していきます。営業推進部 野呂部長

I 田中会長ごあいさつ

今年の10月より、われわれ会計事務所も避けて通れないインボイス制度が始まります。本則課税事業者への対応は重要であり、TKCシステムもその準備を進めています。また、来年からの電子帳簿保存法対応について事務負担は多少軽減されるようですが、**これらビジネスチャンスとした制度改正商戦が過熱しており、TKCシステムがどのように対応していくのか、関与先への速やかな情報提供が求められます。**加えて、**会計システムの役割は試算表や帳簿作成だけでなく、大量のデータを取り込むことで、業績管理や資金管理などに役立てるものへと変わってきています。**そうした状況下では、FX4クラウドが関与先に定着していくことが望ましいと言えます。是非、本日のセミナーを今後の取り組みのきっかけとしていただければと思います。



TKC北海道会  
会長 田中 裕之

II 基調講演 坂本&パートナーにおけるFX4クラウド導入事例



講師：山尾 秀則 会員  
(税理士法人坂本&パートナー 所長)

税理士法人坂本&パートナーでは、経営方針として「ISOを維持発展させる」ことを掲げており、それが一つの特徴であると言えます。事務所の最重要課題の一つである関与先拡大、特に月次監査先を増やすために必要になるのがISOによる業務品質の維持発展であり、ISO規定、及びTKC会計人の行動基準書に従って事務所管理を行っています。なお、自計化推進については、所内組織の推進室体制の一つである自計化推進室により管理実践しています。特に、令和4年度のFX4クラウドの導入傾向としては「**子会社への追加導入および新規関与先への導入が多く、全利用関与先64件のうち年商10億円以下が50%以上**」を占めています。また、これまでのFX4クラウド導入理由として、「**入力の効率化や部門別管理**」が挙げられますが、**特に「EXCELや他社システムからの切り出し、POSレジ等外部データの読込**

による入力の効率化や活用が当たり前」になってきています。

MR設計ツールによる出力帳表や支払管理機能等の活用もそうですが、「**職員の多くがFX4クラウド利用関与先を1社以上担当しており、各機能を導入する際に相談の受け皿があること**」も推進を後押ししています。自計化システムのレンタル料は資料に記載のとおりですが、値下げは一切行いません。たとえ顧問料を0円にしても、将来的な料金改定のしやすさを確保しており、そうしたことも現在の事務所収益の確保を支えています。理事長の坂本も申しておりましたが、FX4クラウドなどの自計化推進は、この関与先こそはという「**理想的なパターンを狙わず、担当者が勤めるのならと承諾をいただける関与先**」から推進してみたいかでしょうか。

III 最新情報 TKC北海道会 システム委員会からのご案内

1. 改正消費税法(インボイス制度)への対応

令和5年10月決算法人(=令和5年12月申告)からの新様式の申告について、TKCシステムでは課税区分を追加することにより、免税事業者等からの課税仕入れを正しく集計します。また、最新の適格請求書発行事業者の登録日および失効・取消日を活用し、実際の仕入れ年月日を基準として各課税仕入れの有効・無効をチェックします。システムの仕訳チェック機能により仕訳チェックを定期的に行うことで、消費税額の正しい計算を実現します。関与先企業へご案内いただくTKCシステムのインボイス制度対応冊子が新たに提供されていますので、早期の情報提供にお役立てください。

2. 電子取引への対応

電子取引データのデータ保存の義務化について、「有恕措置」が令和5年末で終了します。他社バンダーから電子取引のデータ保存に関する情報提供が開始されています。会計データと証憑が分離すると、巡回監査に大きく影響すると想定されます。証憑を堅持するため、事務所さまから積極的に証憑保存機能の活用をご提案ください。

3. FXクラウド 得意先順位月報

見たいランクにチェックを付けるだけで、貴社の得意先の中で、どの得意先が自社の売上げに貢献しているか、例えば、ここ2か月の取引高が減少傾向にあり、打ち手を検討しなければならない得意先はどこか、社長が特に重要とお考えの得意先の売上高はどうか、その得意先の売上高は、この1年どのように推移しているか、前年と比較してどうかといった情報がいつでも確認できますので、是非ご活用ください。



吉田 幸広 会員  
(TKC北海道会 システム委員長)



札幌東支部

塩見 明  
Akira Shiomi

昨年12月、札幌で独立開業いたしました塩見 明と申します。

TKCへは開業準備も含めて昨年9月に入会したのですが、今回は新入会員ということで「eひと・eはなし」の原稿を書かせていただくことになりました。当初は自己紹介と思ったのですが、TKC全国会の入会セミナーに参加したばかりということもあり、その時の鎌倉旅行のことを書こうと思います。

私が参加した入会セミナーは、2月3日(金)・4日(土)の2日間、東京新宿のリーガロイヤルホテル東京で開催されました。出発前、ネットで検索すると、かなり豪華なホテル。東京にタダで行けて、このホテルに無料で泊まれるのか…期待は大きく膨らみます。さらに、TKCの担当者から連絡があり「ぜひ奥さまも一緒にどうぞ。奥さまの旅費と宿泊費もTKCが負担させていただきます」とのこと。期待はどんどん膨らみます。TKCの担当者はさらに続けます。「せっかくなので、奥さまとの旅行も兼ねて、木曜や日曜も含めて2泊3日や3泊4日で行かれる先生もいらっしゃいますよ。その場合、追加の宿泊費は先生負担ですが、飛行機の手配はさせていただきますので、ご希望の便をご連絡ください」「えええ～、そんなことも許されるの(思わず声に出しそうになった心の声)」。これは行くしかない、妻と2人で木曜から3泊4日の日程を組むことにしました。コロナ禍を挟んで、3年

ぶりの夫婦旅行です。妻の目的は2月2日(木)の鎌倉見物。『鎌倉殿の13人』にハマった妻は、人生初の鎌倉見物に出発前からテンションMAXです。私も5年ほど東京に住んでいたのですが、鎌倉を訪れたことはなく、古都を散策するのを楽しみにしておりました。しかし、あいにく前日の1日(水)から札幌は大雪。JRや航空各社が早々と翌日の欠航を決める中、私達が搭乗予定だった便も欠航。朝一で千歳を立つ予定が10:00発の便に変更になってしまいました。そして翌朝。札幌から千歳までの道のりは大渋滞。当然、飛行機も定刻で飛ぶはずがなく、当初の予定より1時間半ほど遅れて千歳を離陸し、羽田へ着いたのは13:00。12:00に鎌倉に着いてランチの筈が、これから鎌倉へ移動するとランチは14:30。腹の虫には勝てず、空港のビュッフェで昼食をとることにしました。その後は電車で横浜へ移動。京急で羽田から横浜まで乗り換えなし。「便利になったな～」と10年ぶりの東京を楽しみつつ、横浜に着いたところでビックリ。横須賀線がストップし、復旧のめどはたたないとのこと。仕方がないので違う路線で逗子まで移動し、逗子から鎌倉までタクシーで行くことにしました。こうして鎌倉に着いたのは16:00。当初は12:00鎌倉着の予定が大幅の遅れとなり、予定していた鎌倉見物はほとんどできず、大仏様と鶴岡八幡宮を見て観光終了となりました。その後、横浜まで戻る際ですが、横須賀線はまだダイヤが乱れており、やっと来た電車は

ぶりの夫婦旅行です。

妻の目的は2月2日(木)の鎌倉見物。『鎌倉殿の13人』にハマった妻は、人生初の鎌倉見物に出発前からテンションMAXです。私も5年ほど東京に住んでいたのですが、鎌倉を訪れたことはなく、古都を散策するのを楽しみにしておりました。しかし、あいにく前日の1日(水)から札幌は大雪。JRや航空各社が早々と翌日の欠航を決める中、私達が搭乗予定だった便も欠航。朝一で千歳を立つ予定が10:00発の便に変更になってしまいました。

そして翌朝。札幌から千歳までの道のりは大渋滞。当然、飛行機も定刻で飛ぶはずがなく、当初の予定より1時間半ほど遅れて千歳を離陸し、羽田へ着いたのは13:00。12:00に鎌倉に着いてランチの筈が、これから鎌倉へ移動するとランチは14:30。腹の虫には勝てず、空港のビュッフェで昼食をとることにしました。

その後は電車で横浜へ移動。京急で羽田から横浜まで乗り換えなし。「便利になったな～」と10年ぶりの東京を楽しみつつ、横浜に着いたところでビックリ。横須賀線がストップし、復旧のめどはたたないとのこと。仕方がないので違う路線で逗子まで移動し、逗子から鎌倉までタクシーで行くことにしました。こうして鎌倉に着いたのは16:00。当初は12:00鎌倉着の予定が大幅の遅れとなり、予定していた鎌倉見物はほとんどできず、大仏様と鶴岡八幡宮を見て観光終了となりました。

その後、横浜まで戻る際ですが、横須賀線はまだダイヤが乱れており、やっと来た電車は

ぎゅうぎゅうのすし詰め状態。久しぶりに東京の満員電車の洗礼を受けました。そんなこんなで横浜のホテルへ着いたときは妻も私もへとへと。夕食は横浜中華街の予定でしたが、電車で2駅移動する体力も、タクシーに乗る気力もなく、近く中華料理屋で中華料理を食べて就寝となりました。

という訳で今回の鎌倉は残念な結果となったのですが、それはそれで忘れられない思い出の旅となりました。今度は自費で、ゆっくりと、歴史のある古都を散策したいと思います。TKCの皆さん、思い出をありがとうございました。



## 1. TKCモニタリング情報サービス採用金融機関

### ■北海道内金融機関■

1 北海道銀行	8 空知信用金庫	15 北星信用金庫	22 日高信用金庫
2 北洋銀行	9 北門信用金庫	16 空知商工信用組合	23 室蘭信用金庫
3 道南うみ街信用金庫	10 稚内信用金庫	17 釧路信用金庫	24 留萌信用金庫
4 北海道信用金庫	11 帯広信用金庫	18 十勝信用組合	25 遠軽信用金庫
5 苫小牧信用金庫	12 北見信用金庫	19 大地みらい信用金庫	26 十勝清水町農業協同組合
6 旭川信用金庫	13 渡島信用金庫	20 釧路信用組合	27 伊達信用金庫
7 北空知信用金庫	14 網走信用金庫	21 北央信用組合	28 札幌中央信用組合

### ■都市銀行等■

1 三菱UFJ銀行	5 商工組合中央金庫
2 りそな銀行	6 日本政策金融公庫
3 三井住友銀行	7 北海道信用保証協会
4 楽天銀行	8 みずほ銀行

### ■道内に支店がある他県の金融機関■

1 北陸銀行	5 スルガ銀行
2 みちのく銀行	6 七十七銀行
3 秋田銀行	7 青森銀行
4 第四銀行	



## 2. TKCモニタリング情報サービス積極推進事務所

No	支部	所在地	事務所名	会員名	No	支部	所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	あらい税理士事務所	荒井 利幸	29	札幌東	札幌市南区	中川一俊税理士事務所	中川 一俊
2	札幌東	札幌市東区	税理士法人五十嵐会計事務所	五十嵐勝義	30	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川 信喜
3	札幌東	札幌市東区	市川善明税理士事務所	市川 善明	31	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田 浩貴
4	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎 新	32	札幌東	札幌市東区	名越税務会計事務所	名越 隆雄
5	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治	33	札幌東	札幌市白石区	西原昇一税理士事務所	西原 昇一
6	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史	34	札幌東	札幌市北区	税理士法人札幌北会計事務所	能登 康広
7	札幌東	札幌市東区	岩本敏美税理士事務所	岩本 敏美	35	札幌東	札幌市南区	原幸四郎税理士事務所	原 幸四郎
8	札幌東	札幌市豊平区	大林慎一税理士事務所	大林 慎一	36	札幌東	札幌市北区	税理士法人ひづめ会計	樋川 昌之
9	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤 恵一郎	37	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人
10	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人金坂会計事務所	金坂 和正	38	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久
11	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二	39	札幌東	札幌市中央区	税理士法人アグス大通事務所	松本 隆臣
12	札幌東	札幌市北区	公認会計士小島史資事務所	小島 史資	40	札幌東	札幌市中央区	丸山昭一税理士事務所	丸山 昭一
13	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫	41	札幌東	札幌市豊平区	南優香税理士事務所	南 優香
14	札幌東	札幌市東区	小林崇税理士事務所	小林 崇	42	札幌東	札幌市北区	宮下直樹税理士事務所	宮下 直樹
15	札幌東	札幌市白石区	斎藤雅昭税理士事務所	斎藤 雅昭	43	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビジャス・パートナーズ	森下 浩
16	札幌東	札幌市豊平区	坂本文彦税理士事務所	坂本 文彦	44	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川 英樹
17	札幌東	札幌市北区	税理士法人日本アシスト会計	佐々木忠則	45	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美 幹生
18	札幌東	札幌市北区	税理士法人アカシヤ総合事務所	佐々木俊幸	46	札幌東	札幌市南区	米澤篤志税理士事務所	米澤 篤志
19	札幌東	札幌市中央区	佐藤敏明税理士事務所	佐藤 敏明	47	札幌西	札幌市中央区	中央財務税理士法人	安倍 亨
20	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤 伸泰	48	札幌西	札幌市中央区	税理士法人さっぽろ税務会計	阿部 真澄
21	札幌東	札幌市中央区	佐藤博嗣税理士事務所	佐藤 博嗣	49	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太
22	札幌東	札幌市豊平区	鈴木久欣税理士事務所	鈴木 久欣	50	札幌西	札幌市中央区	板倉圭吾税理士事務所	板倉 圭吾
23	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純	51	札幌西	札幌市中央区	上原貴税理士事務所	上原 貴
24	札幌東	札幌市北区	税理士法人しらかば総合会計事務所	田中 慎也	52	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広
25	札幌東	札幌市白石区	アース税理士法人	谷口 和雅	53	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	遠藤 成紀
26	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人アグス平岸事務所	千葉 寛樹	54	札幌西	札幌市中央区	岡崎正毅税理士事務所	岡崎 正毅
27	札幌東	札幌市豊平区	BDO税理士法人 札幌事務所	出口 秀樹	55	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也
28	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉	56	札幌西	札幌市中央区	税理士法人川井会計	川井 一男

No	支部	所在地	事務所名	会員名
57	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸
58	札幌西	札幌市中央区	小林税務会計事務所	小林 康弘
59	札幌西	札幌市中央区	齋藤豊税理士事務所	齋藤 豊
60	札幌西	札幌市手稲区	佐藤寿志税理士事務所	佐藤 寿志
61	札幌西	札幌市中央区	杉村弘幸税理士事務所	杉村 弘幸
62	札幌西	札幌市中央区	税理士法人レアーレ	鈴江 誠
63	札幌西	札幌市中央区	税理士法人春野会計事務所	竹中 正美
64	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之
65	札幌西	札幌市中央区	中川雄介税理士事務所	中川 雄介
66	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎
67	札幌西	札幌市中央区	橋本佐智子税理士事務所	橋本佐智子
68	札幌西	札幌市中央区	はちもり会計事務所	八森 恵一
69	札幌西	札幌市中央区	平田清悦税理士事務所	平田 清悦
70	札幌西	札幌市中央区	堀内信吾税理士事務所	堀内 信吾
71	札幌西	札幌市中央区	税理士法人あかり会計堀内	堀内鶴次郎
72	札幌西	札幌市中央区	スズカ税理士法人	松本 剛明
73	札幌西	札幌市中央区	三上税務会計事務所	三上 香織
74	札幌西	札幌市西区	税理士法人共栄会計	宮崎 知行
75	札幌西	札幌市中央区	森下敏美税務会計事務所	森下 敏美
76	札幌西	札幌市中央区	柳橋税務会計事務所	柳橋 琢磨
77	札幌西	札幌市中央区	八島依子税理士事務所	八島 依子
78	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田めぐみ
79	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
80	札幌西	札幌市西区	米倉弘之税理士事務所	米倉 弘之
81	小樽	小樽市	澤田忠宏税理士事務所	澤田 忠宏
82	小樽	小樽市	税理士法人中央会計事務所	杉下 清次
83	小樽	小樽市	戸井三雄税理士事務所	戸井 三雄
84	小樽	岩内郡岩内町	西正則税理士事務所	西 正則
85	小樽	虻田郡倶知安町	税理士法人アームズ会計社	藪内 英利
86	函館	函館市	大原章敬税理士事務所	大原 章敬
87	函館	函館市	奥山昌弘税理士事務所	奥山 昌弘
88	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
89	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
90	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
91	函館	函館市	税理士法人アグス函館事務所	蛭子井真市
92	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川 拓厚
93	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
94	空知	岩見沢市	税理士法人TACS	木村 聡
95	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
96	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 和繁
97	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉昭
98	空知	岩見沢市	税理士法人ひまわり	山田 和訓
99	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井タカ子
100	旭川	旭川市	税理士法人エール旭川	尾田 利雄
101	旭川	旭川市	金谷博光税理士事務所	金谷 博光

No	支部	所在地	事務所名	会員名
102	旭川	士別市	税理士法人神田税理士事務所	神田 将吾
103	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
104	旭川	旭川市	朝日税理士法人旭川事務所	實吉 孝範
105	旭川	名寄市	税理士法人下田総合事務所	下田悦津夫
106	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
107	旭川	旭川市	多田陽平税理士事務所	多田 陽平
108	旭川	旭川市	藤井雄一郎税理士事務所	藤井雄一郎
109	旭川	旭川市	舟橋馨税理士事務所	舟橋 馨
110	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺 祐吉
111	稚内	稚内市	蝦名朗太税理士事務所	蝦名 朗太
112	稚内	稚内市	田村栄章税理士事務所	田村 栄章
113	北見	紋別市	井山等税理士事務所	井山 等
114	北見	北見市	中島茂幸税理士事務所	中島 茂幸
115	北見	網走市	税理士法人オホーツクネクスト経営会計	南都 正弘
116	北見	網走市	税理士法人北翔会計	藤原 誉康
117	北見	紋別市	渡邊直喜税理士事務所	渡邊 直喜
118	帯広	帯広市	税理士法人FPC	井上 理
119	帯広	帯広市	梅田勇税理士事務所	梅田 勇
120	帯広	帯広市	税理士法人FPC	大平 涉
121	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
122	帯広	広尾郡広尾町	木下利夫税理士事務所	木下 利夫
123	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
124	帯広	帯広市	佐藤信祐税理士事務所	佐藤 信祐
125	帯広	帯広市	税理士法人きずな会計事務所	白岩 征之
126	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
127	帯広	帯広市	関税理士事務所	関 有紀子
128	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
129	帯広	帯広市	谷本会計事務所	谷本 倍規
130	帯広	河東郡音更町	てるい会計事務所	照井 直樹
131	帯広	帯広市	朝日税理士法人帯広事務所	東城 敬貴
132	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
133	帯広	河西郡芽室町	長田勇一税理士事務所	長田 勇一
134	帯広	帯広市	松田孝志税理士事務所	松田 孝志
135	釧路	厚岸郡厚岸町	池田治税理士事務所	池田 治
136	釧路	釧路市	伊藤文彦税理士事務所	伊藤 文彦
137	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀 伸彦
138	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤 康範
139	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介
140	苫小牧	苫小牧市	あすか税理士法人	石田 政士
141	苫小牧	苫小牧市	猪股冬樹税理士事務所	猪股 冬樹
142	苫小牧	室蘭市	駒井桂何税理士事務所	駒井 桂何
143	苫小牧	登別市	柴山徳雄税理士事務所	柴山 徳雄
144	苫小牧	苫小牧市	本野博之税理士事務所	本野 博之
145	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦

## TKC北海道会 会員各位

平成29年5月29日より早期経営改善計画策定支援が開始されました。当事業は、中小企業や小規模企業が、認定支援機関の支援を受けて、経営改善計画を策定し、金融機関に提出することで自己の経営の見直しと早期の経営改善を促すものです。認定支援機関の使命として、当事業を積極的に実践することで、関与先の業績管理体制を整えていきましょう。

TKC北海道会では、全認定支援機関登録事務所が、当事業を実践することを目指して活動します。その一環として、早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧を定期的に会員事務所へ発信いたします。是非、取り組みを開始しましょう!

TKC北海道会 会長 田中 裕之

## 早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧

[令和5年3月3日現在・順不同・敬称略]

No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名	No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	市川善明税理士事務所	市川善明	31	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎
2	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎新	32	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田めぐみ
3	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎公治	33	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷謙太
4	札幌東	札幌市豊平区	岩田圭史・社労士事務所	岩田圭史	34	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田栄吾
5	札幌東	札幌市東区	岩本敏美税理士事務所	岩本敏美	35	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷裕幸
6	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤恵一郎	36	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂豊
7	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股修二	37	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川拓厚
8	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平康夫	38	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山高治
9	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤伸泰	39	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷和彦
10	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮純	40	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井タカ子
11	札幌東	札幌市白石区	アース税理士法人	谷口和雅	41	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島拓也
12	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田勉	42	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋慎吾
13	札幌東	札幌市白石区	中川信喜税理士事務所	中川信喜	43	旭川	旭川市	ふたば税理士法人	西康子
14	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田浩貴	44	旭川	旭川市	税理士法人たいせつ	渡辺亨
15	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田時人	45	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺祐吉
16	札幌東	札幌市北区	藤本康男税理士事務所	藤本康男	46	稚内	稚内市	田村栄章税理士事務所	田村栄章
17	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間貴久	47	北見	網走市	税理士法人オホーツクネクスト経営会計	南都正弘
18	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビシャス・パートナーズ	森下浩	48	空知	滝川市	大林強税理士事務所	大林強
19	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川英樹	49	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
20	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美幹生	50	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本和繁
21	札幌東	札幌市中央区	吉田聡税理士事務所	吉田聡	51	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡吉昭
22	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇竜太	52	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合敏
23	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名和広	53	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海有起
24	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	遠藤成紀	54	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原政広
25	札幌西	札幌市中央区	税理士法人高橋会計事務所	大館政男	55	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川博之
26	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川裕也	56	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井宏
27	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中昌幸	57	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀伸彦
28	札幌西	札幌市中央区	アウル税理士法人	鈴木康弘	58	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤康範
29	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中裕之	59	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木圭介
30	札幌西	札幌市中央区	戸井正人税理士事務所	戸井正人					

## 1. 事務所名掲載の条件

- (1) ProFITの「利用申請受理通知」の報告を実施していること。
- (2) 「利用申請受理通知」の報告にて「TKC会報の実践事務所一覧への掲載」および「TKC全国会HPの実践事務所一覧への事務所名掲載」を承諾していること。

※事務所名掲載を希望されない場合は、ProFITにて承諾にチェックを入れないようにしてください。

2. 当資料は、前週の金曜日に集計し毎週月曜日に発信させていただきます。

## TKC北海道会

中小企業支援委員会 / システム委員会 / 巡回監査・事務所経営委員会



札幌東支部

谷口 卓弥  
Takuya Taniguchi

皆さま、初めまして。  
令和3年4月に出身地の地元札幌で独立開業、令和4年9月にTKCに入会いたしました、谷口卓弥と申します。以前は自身100件担

当を持つ所長先生にお世話になっており同様に考えていましたが、自計化ありきではない旨TKC会員の先生方にお話を伺いそのまま入会となりました。入会時の各セミナーでは所長先生はむしろ担当をあまり持たず、巡回監査は監査職員に任せていくなどのTKC成功モデルが数多くあるのだから、当初は右へ倣えでも先人に倣いTKC全国会を盛り上げてといった趣旨の貴重な経験談など拝聴させていただき、試行錯誤の中ありがたく存じます。

最近だと、これが趣味だといったものはありませんが、麻雀は学生の頃までよく遊んでいましたので、税理士会の方で4人打ちメンツ不足の際に多少参加しています。また、PCゲームはモノクロ時代からやっていた。皆さまゴルフが趣味とよく耳にしますので、機会がありましたらいずれ、むしろ趣味としての話題作りにもなるのかと。

話は変わりましたが、現在のわが国のおかれる状況、少子高齢化・中国GDP増加等による相対的な経済力低下、低賃金・人材不足、公共料金等価格の大幅改定、情報の複雑化など、中小企業を取り巻く環境は刻一刻と変化しています。

一昔前2045年といわれたAIが人間の知能を超える転換点、いわゆるシンギュラリティ(技術的特異点)は、いまや20年早まり2025年ともいわれています。複合機などでデータ自動スキャンのみで会計処理が終わる、あるいはペーパーレス化が進み決済時に全て完結という時代もすぐ先の話かもしれません。

ExcelのAI化を始め、AI化が進むと日本税理士会連合会「あなたの頼れるパートナー」としての税理士の立ち位置がどうなっていくのか。昨今のDX(デジタルトランスフォーメーション)化の潮流と併せ、今後10年、20年で会計業界がたどる変遷、税理士が社会において果たすべき使命・役割、種々のわれわれ世代が考えるべき事案、過渡期であり、あるいは新時代の黎明期ともいべきご時世論にはなりません。その他コロナ等諸動向・<sup>すうせい</sup>趨勢はさておき、まずは1日も早くTKCの理念に沿う事務所となるよう鋭意努めてまいりますので、諸先生方におかれましては、ご指導の程よろしくお願いたします。

# 巡回監査士合格者座談会

令和5年1月24日(火)巡回監査士合格者座談会

出席者:

田中裕之 TKC北海道会会長

菅野 浩 北海道研修所長

坂本文彦 広報委員長

税理士法人本間会計事務所 中村慎吾 さん

寺田勉税理士事務所 眞野良太 さん

Aimパートナーズ総合会計事務所

新井哲子 さん

菅野浩研修所長(以下、

菅野) 今日はお集まりいただきありがとうございます。

この巡回監査士合格者座談会は、4回目になります。毎年、前年の11月の試験に合格された方をお招きして話をお聞きしております。

最初は自己紹介ということで、まずは、私たち3人の自己紹介を簡単にいたします。

田中裕之会会長(以下、

田中) 皆さん今日はどうもありがとうございます。TKC北海道会で会会長を務めております田中と申します。

今年、事務所の職員も巡回監査士の試験を受けて、2名受けましたが、2名とも無事合格することができて、皆さんと同じお仲間になれましたので、今後お会いする機会が



菅野浩研修所長



田中裕之会会長

ありましたらよろしく申し上げます。

(菅野) TKC北海道研修所の所長を務めております菅野と申します。最近コロナで会場に集まったの研修があまりできていませんが、今年からは再開できたら良いなと思っております。

坂本文彦広報委員長

(以下、坂本) 広報委員長

の坂本と申します。前職もTKC会員事務所でしたので、26年TKCのシステムにお世話になっているということで、

私も20年前、当時は上級試験という名称で、それに合格しました。もし、その時座談会があったとしても、私は多分、皆さんが話されるような立派なことは話せなかったのかなと思っております。今日は楽しみに聞かせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



坂本文彦広報委員長

## 1 合格者のひととなり

(菅野) ありがとうございます。それでは今度は、皆さんの自己紹介をお願いしたいと思います。お名前、勤続年数、事務所での担当件数含め、現在どういう仕事をしているとか、会計事務所に就職しようと思った理由とか、そんなお話をいただければと思います。新井さんからお願いします。

新井哲子さん(以下、新井) はい。よろしくお願いいたします。Aimパートナーズ総合会計事務所の新井哲子と申します。よろしくお願いいたします。

蝦名和広所長のところの勤続年数は1年9ヶ月くらいになります。実は5年位前にパートとして2年半ほど働いていた経験があって、その後、少しの間他の事務所に勤務し、再び蝦名所長のところに戻りました。トータルでは4年3ヶ月になります。



新井哲子 さん

担当件数は現在28件です。そのうち実際に私が月次巡回監査をしたり、申告書を作成しているのは、15件くらいです。残りは、現在研修期間中の職員たちと一緒に、担当しております。いわゆるその職員たちを指導する立場で、担当させていただいています。

会計事務所への就職理由は、父が会計事務所に勤務しており、その父のそろばんをはじく姿や元帳を作る作業が面白そうだなと思ったことにあります。当時は、家に仕事を持ってこることがあり、それを目の当たりにしました。気が付いたら自分もその仕事に就いていたってことです。

(菅野) ありがとうございます。では続きまして、眞野さんよろしいでしょうか。

眞野良太さん(以下、

眞野) よろしく申し上げます。寺田勉税理士事務所の眞野良太と申します。勤続年数は3年8ヶ月で、前職はPC関係の仕事をしていました。



眞野良太 さん

今はその経験を生かしてお客さまの管理帳票などをExcelからシステムに連携させるということに、特に力を入れて、お客さまの業務効率を高めるように日々業務に当たっています。

担当件数は、個人11件、法人15件の全部で

26件です。業種は、水産関係や、自動車整備業、建設業など幅広く担当しております。

税理士事務所への就職理由については、はっきりとはしないのですが、何かの魅力に取りつかれたのでしょうか。大学生の時から何となく「税理士になりたい」と思っていました。「この業界に飛び込んでみたい」と。

(菅野) ありがとうございます。それでは中村さんお願いします。

中村慎吾さん(以下、

中村) 税理士法人本

間会計事務所の中村慎吾と申します。勤続年数は、3月で丸2年たちます。前職は大学卒業後、信金に勤めてい

ました。今回、「かいほう」に載るということで、前職の人に見られたら少し恥ずかしい思いはあります(笑)。

現在は、関与先12件担当していて、今年はもっと増える予定になっています。

就職した理由としては、大それた目標があった訳ではありません。前職時代、決算書を見る機会が大変多くありました。基本的に金融機関の人は決算書をあまり信用してないのですが、TKCシステムを使っている取引先はしっかり決算書を作成している印象がありました。そんなことで、TKC会員事務所で作成する側になろうかなと思ったのですが、実際イメージと違ったのは、会計事務所がパソコンに入力していると思ったのですが、巡回監査という場でお客さまと話す機会がとても多いので驚きはありました。

(菅野) ありがとうございます。昨年11月巡回監査士試験、皆さん3人とも6科目を1回で合格しています。



中村慎吾 さん

(田中) 素晴らしい。

(菅野) 本当に素晴らしいです。皆さんは一昨年に巡回監査士補を受けられているのですか？

(新井) 私はその前ですね。

(菅野) その時も1回で合格されているのですか。

(眞野) 3回です(笑)。

(新井) 私は2回です(笑)。

(坂本) 私は5年(?)かかりました(笑)。

## 2 合格者の勉強法

2時に起きて5時まで勉強することにしました。子供が高校受験生で、5時から6時はその受験勉強もみていましたので、自分の勉強のためには、どうしてもそんな時間に起きるしかなかったということでした。(新井)

(菅野) ということで、その勉強法、秘訣をぜひお聞きしたいと思います。1回で合格となると、本当に勉強されたのではないかなと思います。この点をこれからお話いただけたらと思います。眞野さんからよろしいですか。

(眞野) はい、私の学習方法ですが、朝起きて必ず1時間は勉強するという方法でした。一昨年末ころから早く寝て早く起きるという「朝型人間」になり、それをずっと続けていました。

具体的な勉強法としては、最初に過去問3年分を繰り返し解いて、それから購入したテキストと問題集を使って、さらに問題をひたすら解くということをしていました。以前の巡回監査士補の試験で計算は大丈夫でしたが、選択問題で自分は点数が取れていないことに気付いていましたので、「選択問題では絶対落とさないようにしましょう」というところを意識して勉強をしていました。

(菅野) ありがとうございます。問題をひたすら解くという話でしたけど、実はTKCの中央研修所ではオンデマンド研修で、そのテキストの解説の講座、今は税法だと大原学園の先生がそれをやっているのですが、それはご覧にはなりませんか。

(眞野) 最初、見ようと思ったのですが、そうなる

と、業務後になるのでそれは申し訳ないのですが…あまり見ませんでした。

(菅野) いやいいんです(笑)。ただ、一応研修所としてはどのくらい見てもらっているのか気になるものでして(笑)。

ありがとうございます。

続いて、中村さんよろしいでしょうか。

(中村) はい。今まさに話題になりましたオンデマンド研修動画、たしか8月くらいから、視聴できるようになったと思います。時期的に本格的に勉強し始めたのはそこからでした。まずテキストを使って講師の方の話をひたすら聞きました。それから9月入る前くらいに、テキストを見ながら問題集を解き、次に何も見ないで解いて、そこでできなかった問題だけをさらに解く。それを繰り返してやっていくという方法でした。4科目の税法、一気に勉強しました。結局は2周ずつぐらいしか時間が取れませんでした。ということで、結果的には点数はギリギリの科目もありました。

あと勉強場所については、土日に家では集中できないので、ファミレスとか図書館とかで勉強しました。

(菅野) ありがとうございます。ちなみに勉強する時間は、夜仕事終わってからですか？眞野さんのように朝型というわけではなく？

(中村) そうですね。仕事終わった後、事務所に残って、「少しやっていこうかな」というような感じでした。

(菅野) ありがとうございます。新井さんよろしいでしょうか。

(新井) はい。私は、税理士試験の消費税の勉強をしていたので、その試験が終わった8月から開始しました。私の事務所では、巡回監査士補に2人が1回で合格しています。その人たちと一緒に、オンデマンドの研修を見て活用させていただきました。私の事務所には、水曜日の午前中1時間研修を

見ていい時間があります。

試験勉強をする時間ということでは、昔から朝型で、開始が8月からということ、さらにはみんなで6科目受けようって決めてからは、2時に起きて5時まで勉強することにしました。子供が高校受験生で、5時から6時はその受験勉強もみていたので、自分の勉強のためには、どうしてもそんな時間に起きるしかなかったということでした。

あと気を付けていたのは、1日に2科目ずつ並行して勉強するようにしていました。土日の空いた時間には、その2科目で終わった科目を復習するみたいな感じで、進行しつつ復習も一応土日という形はしてたんですが、結果だけ見ると全部ギリギリみたいな、ならした感じの点数しか取れなかったもので、ちょっともったいなかったなと、もうちょっと深く勉強したかったなとは思いました。

(菅野) ありがとうございます。すごいですね、お子さんの勉強までみているのですね。

(新井) 塾に行きたがらなかったのも、どうしても私がみるしかなくて。

(菅野) すごい。私は息子と娘の高校受験の時、みても何もわからなかったです(笑)。

(新井) 私もわからないのですけど(笑)。

(菅野) 今、3人の話を聞いていて、皆さんそれぞれ工夫されていると思います。新井さんの事務所では水曜日の午前中オンデマンドを見ていい時間帯があるということですが、事務所として何か他のバックアップとか支援があったのか教えてください。

(中村) テキストを買っていただきました。

(菅野) それは流石に買うっていうのは(笑)。事務所側で準備するのは当然だと思っています。

田中会長、ここまでのお話で何か深掘りしたいことはないですか？

(田中) いやいやいや大丈夫です(笑)。

(菅野) 坂本先生もここまでで何かありますか。

(坂本) ただただすごいなと思って聞いていました。自分が受験した当時7科目だったので、最初、税法は順調に合格したのですが、後半のTKCシステムと巡回監査と職業倫理がなかなか取れなくて苦労しました。本当に用語は覚えられなくて、大変でした。だからいまだに「職域防衛」と「運命打開」が頭の中を駆け巡っています。

(菅野) 事前の案内に書いていないのですが、オンライン試験のことをお聞きしたいと思います。昔は会場に集合してペーパーによる試験でしたが、一昨年からの形になりました。オンライン試験をやってみてどういう感想をお持ちですか。これについてはいろんな意見がありまして、紙の方が良いという意見、人が集まる所に行かなくていいから良いという意見、いろんな意見があります。実際試験を受ける立場として、いかがでしたでしょうか。

(眞野) やりづらさっていうところは特になかったのですが、紙の方が単純に解く量が多かったと思います。

(菅野) 新井さんは何かオンライン試験で感じたことはありませんか。

(新井) オンラインだと私が解答だと思ったものと違うものを選択していたりして、後の見直しで気づいたりしたのですが、やっぱり書くのと違ってできたつもりでいても、選択ミスの可能性はあるのかなってことです。あとは身につくということでは書いた受験の方が書かなければということで、必死に勉強したと思います。

(菅野) ありがとうございます。オンライン試験をやる側の立場として、問題を作るのも大変だったんです。オンライン試験をやめようって人があまりいないですね。オンライン試験を続けた方が良いんじゃないって言ってくれる方が多いので、本当に良かったかなと思っています。

### 3 合格した今、どう変わった そして未来は…

今後は普通の業務をしっかりやって、「巡回監査士に合格している人はすごい。自分も勉強してみよう」と思ってもらえるようになりたいです。(中村)

(菅野) 次の質問に移らせていただきます。試験に受かったことで、何か気持ちの変化とか、今後、こういう仕事をやっていきたいとか、職業会計人になりたいなど少しお話いただけたらと思います。中村さんからお願いしてよろしいでしょうか。

(中村) 合格したことで変化っていうのは正直ないかなと感じています。TKC会員の方々には「合格したのはすごいね」って言っていただけるんですが、今のところは関与先に言っても伝わらないと思います。今後は普通の業務をしっかりやって、「巡回監査士に合格している人はすごい。自分も勉強してみよう」と思ってもらえるようになりたいです。業界全体もそういう雰囲気を持っていけたら良いのかなっていうのは感じています。

これは今後目指しているものにつながりますが、知識を蓄えて質問にきちんと答えられるようなお客さんに頼られる存在になりたいです。今回の合格はその一歩だと感じています。

(菅野) はい、ありがとうございます。新井さんよろしいですか。

(新井) わたしに起きた変化については、試験に苦労した分、受かったことで、自信が付きました。それは日々業務に関係してくる法人税、消費税、所得税だけではなくて、相続税や巡回監査をする上での心構えとか、そういった知識が身に付いたと思えることが自分の中での変化になっています。あとはこの難しい試験に合格できたことで、今目指している税理士試験も、やればできるのかなという、自信にもつながったと思っています。

それから、お客さまの悩み、課題を一緒に解決したり、お客さまの夢を、一緒に叶えていけるというこ

とがこの仕事のやりがいだと思いますので、今まで以上に必要とされるような職業会計人になっていきたいなと思いました。

あとは、これからの時代は会計とか税務とかだけではなくて、IT化とか組織化などといったことも必要になってくるといわれています。それらも両方ともお客様さまのために知識を身に付けていけるようになりたいと思っています。

(菅野) ありがとうございます。それでは、眞野さんよろしいでしょうか。

(眞野) はい、取り組み方の変化ですが、この仕事について思うのは、「知らない」ということは怖いということです。お客さまに何か問題があっても、知らないから何も疑問に思わない、そういうことが怖いなと思っていました。

今回の巡回監査士試験を通じて、税法の知識がより深まったことで、「あれそういえば、ここを勉強したな」って思い出すことは多くなってきました。さらに知識が深まったことで、データや書類チェックの時間が徐々に短縮されてきて、経営に対するアドバイスを多く時間を割けるようになったと思っています。

次に職業会計人として目指しているものについてですが、「この人になら安心して任せられる」、「経営が安定し、あなたのおかげで黒字になった」などと言われるようになりたいと思っています。そして、人としても、この人すごいねって思われるようになりたいと思っています。

(菅野) ありがとうございます。ここまでで田中会長何かございませんか。

(田中) 中村さんが言われたように巡回監査士は、確かにまだまだ知名度としてはそんなに高くはないですね。だけど、やっぱり税理士事務所、会計事務所の仕事は、皆さんも感じている通り、相当高度な仕事なんです。仕事の内容も幅も広いし、

そういうことからすると、やはりTKC全国会はこの資格をTKC会員事務所の全ての職員に必ず取って欲しい資格だと思っています。そんなことから今推進をしているんです。

その実、この巡回監査士が脚光を浴びて活動したのはここ数年のことなのです。私が会長になったあたりから、巡回監査士を盛んに言うようになりました。これは全国会の坂本会長が言われたことですが、巡回監査士の数をようやく会員の数が超えたんです。これはすごいことだと僕は思っています。これからますます巡回監査士が増え、知名度も上がり、巡回監査士を取るの意味がより深まってくると思います。

だからそれだけに本当に皆さんが努力されて、この資格を取得されことに、敬意を表します。これを一つのステップとして、さらに飛躍してほしいなと思っています。ぜひ頑張ってください。

(菅野) ありがとうございます。巡回監査士は今、日本能率協会に登録されている公的資格になっていて、TKC会員事務所の職員ではない受験生も全国的には多くはないですがいらっしゃいます。今は履歴書に書ける資格になっています。

うちの事務所では職員に、巡回監査士試験に合格して登録が終わると、名刺に巡回監査士と書いているんですよ。会長のところには書いていますか？

(田中) 書いています。

(菅野) 書いていますよね。これ結構、名刺交換をすると、まだ知名度が低いので(笑)「巡回監査士って何？」って、お客さまに聞かれることがありますね。少しでも巡回監査士が世の中に知れ渡ってほしいと思っています。

(田中) これからだと思います。

実は「監査」については、過去からのお話をすると、その文言を税理士業界が扱うということはいろ

いろと問題ではあったようです。やはり「監査」というのは、公認会計士の専門業務で、それをこの税理士業界が「監査」という言葉を使うことはいかなものかということだったようです。しかし時の経過と共に税理士業務に「監査」が馴染んできています。そして、今皆さんが一生懸命やっている書面添付について、令和6年からの記載内容の中に監査の頻度を記載するということになりました。税務行政の書類の中に堂々と「監査」という文言が出るぐらい時代が変わってきたということです。

ですから、これからますます知名度が上がっていくと思いますし、そのためにも、皆さんが今後それになかった活躍をすることが大事になってきますので、ぜひ頑張ってくださいと思います。

### 4 これから試験を受ける人へのエール

試験のための勉強ではありますが、この試験を通して、TKCの理念だとか、税法の理解が深まり、業務の役に立つことは間違いないと思います。(眞野)

(菅野) それでは最後の質問です。この巡回監査士・士補の試験制度、来年以降もずっと続けていきます。TKC全国会でも数をもっともっと増やしたいということで頑張っています。皆さんの事務所の後輩の人でこれから受けるという人、他の事務所でも受ける人、これからはたくさんいると思います。これから受ける人に何かメッセージをお願いいたします。新井さんからお願いします。

(新井) 先ほどもお話しましたが、私の事務所でも、巡回監査士補に受かった人がいて、今年は巡回監査士を受けるそうです。その人たちに伝えていることは、例題集を3回は回すということです。そうしたら合格できるのかなと思っています。仕事をしながらの受験は大変だと思うのです。それでも、何とか時間を見つけて3回はやってもらいたいと思っています。あとは動画の視聴も含めて、今からできることは確実にやっていたら良いのかなと思います。

(菅野) ありがとうございます。続いて眞野さんよろしいでしょうか。

(眞野) はい、わたしからはこの試験のボリュームでは、1週間とか1カ月という勉強では、自分の身に定着しないと思いますので、しっかり時間をとって自分の身に定着するように勉強してほしいという思いがあります。試験のための勉強ではありますが、この試験を通して、TKCの理念だとか、税法の理解が深まり、業務の役に立つことは間違いないと思います。あとは、勉強をする時間については、仕事終わりだと疲れてしまうので、朝にしっかりやるということをお奨めします。

(菅野) ありがとうございます。最後に中村さん、よろしくをお願いします。

(中村) 眞野さんのお話と重なる部分もありますが、試験のための勉強じゃなくて、自分の知識を高めていくために、ちゃんと理解した上で勉強した方が良いと思います。自分自身の反省でもありますが、合格はしましたけども点数ギリギリでしたし、全然まだまだ身に付いてない部分もあると思います。合格したこれからも復習、見直しをして、自分の頭の中にインプットできるようにしていきたいと考えています。

(菅野) はい、ありがとうございます。会長から最後に、改めての激励みたいなメッセージをいただけますでしょうか。

(田中) 先ほどこの業界の社会的評価についてのお話をしました。皆さんのように、しっかりした考えを持って業務についている職員がいらっしゃる事務所は、まだまだ少数なんです。ですから、今、全国会はまさに「未来に挑戦するTKC会計人」というスローガンを掲げて頑張っているのです。1事務所でも多く、そういうしっかりした考え方をもち勉強する職員を多く抱える事務所になってもらいたい。そうして、少しでもその割合を高めていくことに

よって、世の中のわれわれの業界に対するイメージを変えていこうという活動をしているんです。

やはり坂本会長がよく言われるんですが、そういう立派な事務所に多くの企業が関与されることにより、この企業自体も良くなり、そうすれば、地域の経済は必ず良くなり、ひいては日本の経済が良くなっていく。道筋は大変遠いのですが、でもだからこそ挑戦なんです。ですから、今こうやって立派な資格に合格されて、これからいろんな方向に皆さん向かっていくと思います。

ぜひそのTKCが今やろうとしている運動の中身を深く理解をして、そして、ご自身もそれに関わってやっていくと同時に、事務所の周りの人たちにもそのことを伝えて、今後ますます事務所を発展させて、関与する企業を立派にしていただければなと思っています。これは本当に切なる願いです。よろしくをお願いします。

(菅野) ありがとうございます。うちのスタッフも巡回監査士に合格して、バリバリ仕事してくれています。そういう職員がいて、事務所をしっかり支えているからこそ、自分もこういう研修所長などのTKCの会務や他の色々なこともできているのかなというように思っています。なかなか職員に面と向かっては言えませんが。

これスタッフが全然ダメだったら、いろいろなことやっていられないと思います。そういう中で本当に皆さんも巡回監査士試験を受かれて、先ほどいろいろお話を聞いても、本当にしっかり考えを持って今後の目標を皆さんお持ちなので、本当にそのまま進んでいただければ、恐らく所長の方々もとても安心することでしょう。

この3人の事務所の所長の方々はTKCのことを本当に一生懸命いろいろやっている方ばかりですけど、もっと安心して所長の方々もいろんなことに取り組んでいけるのかなと思います。これからも

どうぞよろしく願いいたします。

坂本委員長最後に何かありますか？

(坂本) 本当に皆さん資格を取られたということで、今までにも増して、とにかくしっかりやってもらいたいと思います。新しく関与をすることになった法人の決算書・申告書見ていて思うことがあるのです。ひどいなって。待てよ、自分はどうなんだろうって。だから、仮に自分の担当しているお客さまがよその事務所に移ってしまった、その時に恥ずかしくない仕事をしてもらいたいと思います。ああ、前の事務所はしっかりやっていたんだと思ってもらえるように。資格に恥じず一生懸命頑張ってください。

(菅野) はい、どうもありがとうございました。では以上で座談会を終わらせていただきます。本当に今日はお忙しい中ありがとうございました。



# 支部例会・研修会だより

FROM ASAHIKAWA, SAPPORO NISHI, SORACHI, KITAMI



## 旭川支部例会

2月1日(水)午後3時30分より、旭川支部例会を花月会館において集合形式で開催し、会員17名、北海道会より木村聡副会長、株式会社TKCからは齊藤将基センター長とSCGの大槻弘毅さま、大同生命保険株式会社からは川村正益支社長と澤森一貴課長が出席されました。

島田康弘支部長のあいさつに続き、木村副会長より1月に行われた全国会理事会・北海道会理事会についてご説明いただきました。

その後、①稚内支部統合とそれに伴う旅費規程の制定 ②新入会員への支援策についての説明があり、臨時総会に諮る旨の報告がありました。

引き続き、支部長からは北海道会理事会報告があり、特に令和5年4月から適用される金融庁による監督指針改正について説明がありました。

委員会報告では、中小企業支援委員会からは、旭川信金とのトップ対談および旭川信金職員向け研修会が開催されたことについて、巡回監査・事務所経営委員会からは事務所経営塾を4月例会から行うこと、企業防衛制度推進委員会からは4月に行われる特別研修会の案内、書面添付推進委員会からは書面添付シンポジウムの説明と税務署訪問について等、各委員会から報告されました。

つづいて、役員選考委員会の佐竹美一委員長より、今までの委員会の経過説明がありました。TKC報告・大同生命報告があり、次回の支部例会を4月21日(金)に行うことを確認し、支部例会を終了しました。

例会終了後は、久しぶりに懇親会(新年会)を行い、久々に親睦を深めることができました。

(旭川支部 舟橋 馨)





## 事務所経営塾

札幌西支部が主催する「令和5年度 事務所経営塾」の第1回目が、2月3日(金)16時より、税理士法人すずらん総合マネジメントにて山谷謙太支部長により事務所経営塾が開催されました。

第1回は「ヒト・教育の問題(採用・テレワーク・職員教育)」というテーマで、税理士法人すずらん総合マネジメントで実践している取り組みをご紹介いただきました。

採用・テレワークという論点では、実際に行っている求人情報、新卒採用の給与水準等についてお話しいただきました。特に「アマゾンプライム手当<sup>※1</sup>」や「フットサル面接<sup>※2</sup>」というユニークな制度は大変参考になりました。

職員教育という論点では、人事評価や導入している社外研修等についてお話しいただきました。その中でも、私は「やり方」の前に「在り方」を教える」という内容が大変印象に残りました。

全体を通じて、参加者からの質問や意見が多く出たこともあり、それぞれの事務所の情報交換が活発に行われた結果となりました。参加者全体でのコミュニケーションを通じて、各事務所が独自の組織風土や特色を持っており、それにマッチした制度や人事戦略を採用することの重要性を感じました。私の場合は、まずは自分の事務所の風土や特色を確立させ、それを正しく認識することが必要であると感じ、大変勉強になりました。

※1 アマゾンプライム手当とは、Amazon.comが展開する有料会員制プログラム(Amazonプライム)に加入している社員に支給する手当のことです。様々な動画やテレビ番組等を視聴できるプログラムで、現在の若者は、飲み会や社内旅行等より、Netflixや動画配信サービスを利用したアフターファイブの時間を重視する傾向にあるため、現代に対応した福利厚生として導入しました。

※2 フットサル面接とは、最終面接で、所長や社員と同じチームでフットサルを行う面接です。通常の面接より、その人らしさを知ることができると考え導入しました。

(札幌西支部 青沼 秀)



## 令和4年度 第二回例会・研修会・金融機関協議会開催

令和4年12月7日(水)に、空知支部第二回例会・研修会・金融機関協議会を滝川のホテル三浦華園で開催いたしました。

研修会の時間では、巡回監査・事務所経営委員会の新たな取り組みである事務所経営塾を開催いたしました。今回は初回のためインボイス制度導入に伴い顧問料の値上げをするかどうかについて話し合いました。

研修会の後は第二回目の例会を開催しました。例会では、10月27日(金)に開催された理事会の内容と、委員会からの報告、提携協定企業からの報告がありました。また今回は、中小機構の関寛之さまにご出席いただき中小機構の取り組みについてご紹介いただきました。

また、前回の岩見沢での開催につづき今回も金融機関協議会を開催いたしました。北門信用金庫本店から常務理事の島貫有俊本店長、北空知信用金庫滝川支店から南條喜義支店長、北海道信用保証協会滝川支店から長谷健二郎支店長と



小林拓也次長にご出席いただきました。

協議会では、TKCの取り組みとしてMIS、書面添付、ポストコロナ事業、BASTなどについて説明をし、TKC会員が行っている行職員研修について一部実際に体験していただきました。各金融機関からは、TKCの取り組みについての感想や経営者保証解除の要件等についてお話しいただきました。多数の会員先生に参加いただきありがとうございました。

例会終了後は、出席者一同に参加いただき松尾ジンギスカンで忘年会を開催いたしました。

(空知支部 八幡 吉昭)





## 例会(飲み会)開催

2月3日(金)、北見市のホテル黒部において令和5年2月支部例会を開催しました。

昨年は、まん延防止等重点措置中で急ぎよ書面開催になったこともあったので、今年は皆さんで実際に集まって、例会を行うことができたことは、どこか懐かしさもあり、非常に嬉しかったです。

例会は、通常通り理事会報告等、巡回監査率向上のディスカッションを行い、無事に終了しました。

夜は、お楽しみの懇親会。北見市は焼肉の街でとてもおいしいのですが、煙がもくもくでスーツで行くと、においががつりついてしまうお店が多いのですが、中には上品でまったく臭くならない高級店があります。そこで懇親会をと、ネットで予約しようとしたら、改装中のため休業とのこと。残念でした。

改めて探していましたら、ふと思い出しました、オホーツクビールのことを！調べてみたら、ここで例会の懇親会を行うのは5年ぶり、前回は暖かい時期の開催でした。真冬の夜の気温がマイナス20度にもなる北見でビールを飲み続けるという企画に、支部の諸先輩方から怒られるのではないかとビビりま



したが(支部長が一番年下です)、実際には大いに盛り上がり、楽しい懇親会となりました。学生のようにいろんなビールを並べたり、写真を撮ったりとはしゃいでしまいました。いつもの風景が、徐々に戻ってきたかなとそう感じました。

終わった後、いつものメンバーで2次会へ繰り出そうと、北見の夜の街へ出発すると、閉店中のはずの、最初に行こうとした高級焼肉店のネオンがギラ

ギラと輝いておりました。不思議と今日が楽しかったので、残念な感覚はなく、また次回行く楽しみが増えたかなとそんな思いでした。

今年は、コロナに関係なく皆さんと昔みたいにあちこちで飲んで語れるような年になれば良いですね。ということで、例会報告というよりは飲み会報告でした。

(北見支部長 渡邊 直喜)



令和5年 書面添付実践件数 (令和5年2月末日現在)

令和5年 書面添付実践件数 (令和5年2月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和3年実績	令和4年実績	令和5年実績		
					1月	2月	合計
1	札幌東支部	五十嵐勝義	98	91	4	6	10
2		市川 善明	45	45	1	11	12
3		岩崎 新	0	0	0	0	0
4		岩田 圭史	29	35	0	11	11
5		岩本 敏美	30	28	0	4	4
6		大林 愼一	4	5	0	0	0
7		能登 康広	9	9	0	1	1
8		加藤恵一郎	215	211	4	42	46
9		金子 雅行	8	8	0	1	1
10		金坂 和正	14	13	0	2	2
11		川股 修二	163	169	10	17	27
12		小平 康夫	47	46	0	4	4
13		斎藤 雅昭	11	11	0	1	1
14		坂本 文彦	7	8	0	3	3
15		佐々木忠則	232	235	5	24	29
16		佐々木俊幸	10	12	1	2	3
17		佐々木幸徳	39	35	0	2	2
18		佐藤 俊一	14	14	0	3	3
19		佐藤 伸泰	66	65	1	6	7
20		下坂 登	7	5	0	3	3
21		清宮 純	83	82	1	10	11
22		高野 真人	7	9	0	1	1
23		田中 愼也	2	4	2	0	2
24		谷口 和雅	21	25	1	4	5
25		千葉 寛樹	92	86	3	19	22
26		出口 秀樹	53	56	3	5	8
27		寺田 勉	80	79	1	12	13
28		中川 一俊	53	55	0	8	8
29		中川 信喜	60	59	3	6	9
30		中田 浩貴	33	26	1	2	3
31		名越 隆雄	3	2	0	0	0
32		原 幸四郎	58	56	1	2	3
33		藤谷 満雄	18	16	0	2	2
34		藤田 時人	66	61	4	5	9
35		藤本 康男	7	5	0	1	1
36		本間 貴久	157	141	1	24	25
37		本間 崇	0	2	0	0	0
38		松本 隆臣	75	68	3	8	11
39		丸山 昭一	30	32	0	5	5
40		南 優香	38	38	4	7	11

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和3年実績	令和4年実績	令和5年実績		
					1月	2月	合計
41	札幌西支部	宮下 直樹	149	200	7	51	58
42		宮本 信	0	0	0	0	0
43		森下 浩	18	18	0	3	3
44		山美 幹生	35	40	3	5	8
45		横山 知明	0	0	0	0	0
46		吉川 直宏	0	0	0	0	0
47		米澤 篤志	9	15	0	0	0
48		阿部 真澄	53	62	0	1	1
49		池脇 竜太	98	93	1	9	10
50		石川 透	3	2	0	0	0
51		國分 敬祐	5	6	0	1	1
52		伊東 幹世	0	0	0	0	0
53		上原 貢	13	13	0	1	1
54		遠藤 成紀	204	198	5	35	40
55		大沼 宏	6	7	0	0	0
56		岡崎 克明	0	0	0	0	0
57		岡崎 正毅	11	11	0	0	0
58		小川 裕也	15	15	1	1	2
59		川端 忠範	14	13	0	1	1
60		小中 昌幸	62	74	1	9	10
61		小林 康弘	19	18	0	2	2
62		近藤 勝美	5	5	0	1	1
63		杉村 弘幸	14	15	0	0	0
64		鈴江 誠	42	45	0	5	5
65		高野 一夫	0	0	0	0	0
66		竹中 正美	34	45	2	13	15
67		田中 裕之	149	151	1	16	17
68		藤堂 愛子	0	5	0	2	2
69		中川 雄介	0	0	0	0	0
70		西野尾嘉拓	0	0	0	0	0
71		八森 恵一	8	7	0	1	1
72		平田 清悦	32	29	0	7	7
73		堀内鶴次郎	21	21	1	3	4
74		三上 香織	1	1	0	0	0
75		長田 幸雄	18	0	0	0	0
76		村西 逸郎	1	1	0	0	0
77		森下 敏美	13	12	0	2	2
78		柳橋 琢磨	7	11	2	3	5
79		八島 依子	23	23	0	3	3
80		山田めぐみ	8	7	0	1	1

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和3年実績	令和4年実績	令和5年実績		
					1月	2月	合計
81	札幌東支部	山谷 謙太	261	283	8	24	32
82		吉田 淳	4	4	0	0	0
83		足立 竹秀	13	13	0	1	1
84		澤田 忠宏	54	54	6	7	13
85		戸井 三雄	73	76	0	9	9
86		西 正則	13	13	0	1	1
87		奥山 昌弘	23	21	0	1	1
88		鎌田 直善	41	40	4	4	8
89		後閑 慶子	8	8	0	2	2
90		千田 浩文	6	6	0	0	0
91		西谷 裕幸	23	8	0	0	0
92		田村 維之	0	7	0	1	1
93		蛭子井真市	33	36	2	1	3
94		細川 拓厚	35	38	0	3	3
95		松山 高治	17	18	1	5	6
96		大林 強	2	2	0	0	0
97		木村 聡	80	85	2	12	14
98		斎藤恵美子	40	39	0	6	6
99		坂本 和繁	152	143	5	35	40
100		鳴海 敏郎	1	1	0	0	0
101		八幡 吉昭	23	23	0	5	5
102		山田 和訓	92	92	5	20	25
103		薄井タカ子	25	25	1	3	4
104		尾田 利雄	60	58	1	13	14
105		加藤 一博	1	1	0	0	0
106		金谷 博光	127	133	3	25	28
107		熊谷 益夫	0	0	0	0	0
108		小島 拓也	6	6	0	1	1
109		佐藤 弘道	2	2	0	0	0
110		高橋 愼吾	95	93	2	17	19
111		舟橋 馨	3	2	0	1	1
112		渡辺 祐吉	63	58	0	6	6
113		蝦名 朗太	4	3	0	0	0
114		田村 栄章	38	44	2	13	15
115		松井 眞実	13	13	0	1	1
116		伊東 隆志	2	2	0	0	0
117		井山 等	19	17	0	7	7
118		菅原 雅之	4	3	1	0	1
119		中島 茂幸	3	6	0	0	0
120		南都 正弘	10	12	2	2	4

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和3年実績	令和4年実績	令和5年実績			
					1月	2月	合計	
121	帯広支部	渡邊 直喜	1	1	0	1	1	
122		井上 理	10	1	0	0	0	
123		河合 敏	178	176	3	28	31	
124		梅田 勇	113	104	2	19	21	
125		白岩 征之	125	121	2	12	14	
126		砂原 政広	73	79	0	13	13	
127		谷本 倍規	137	144	5	20	25	
128		竹川 博之	163	163	2	19	21	
129		東城 敬貴	36	33	1	5	6	
130		中井 宏	198	223	5	30	35	
131		干場 愼也	8	7	0	0	0	
132		松田 孝志	1	1	0	0	0	
133		釧路支部	甲賀 伸彦	166	172	10	26	36
134			高津 直人	0	0	0	0	0
135			近藤 康範	23	23	0	1	1
136			鈴木 圭介	58	71	0	13	13
137		苫小牧支部	猪股 冬樹	28	29	2	2	4
138			石田 政士	59	60	3	6	9
139			駒井 桂伺	37	37	1	4	5
140			佐藤 俊生	2	21	0	0	0
141			柴山 徳雄	11	11	0	0	0
142			鈴木 啓一	0	0	0	0	0
143			湯谷 和彦	101	103	3	16	19
144			小林 史郎	0	0	0	0	0

※公表に同意をいただいた会員のみ掲載しています。  
 ※掲載は、随時TKC北海道事務局にて受け付けています。  
 ※書面添付実践件数は、TKC全国会の選考基準に基づいた件数です。  
 ※実績は法人・個人合算しています。

TKC 全国会

### Ⅲ 新たな運動方針の確認

**未来に挑戦するTKC会計人**  
 ~巡回監査を断行し、企業の黒字決算と適正申告を支援しよう!~

- 「TKC方式の自計化」の推進  
 優良な電子帳簿を圧倒的に拡大する
- 「TKC方式の書面添付」の推進  
 租税正義の守護者となる
- 「巡回監査」と「経営助言」の推進  
 黒字化を支援し、優良企業を育成する



活動期間：令和4年1月～令和6年12月末(3年間)  
 出展：TKC全国会理事会 正副会長からの報告



あの人  
は 今  
第18回

## 今一度、帯広のインデアンカレーと 平和園のジンギスカンを 堪能しに訪問する

【株】TKC首都圏統括センター FX4クラウド推進担当 笠松 喜紀

東京に転勤してはや10年がたちました。首都圏統括センターでFX4クラウド導入のお手伝いをしており、業績向上のために詳細なセグメントで利益の推移を確認したい。インボイス制度と電子取引データの取り扱いを絡め、業務を電子化し、効率を上げると同時に、営業時間を捻出したいのご要望から、FX4クラウド導入の引き合いが増えております。

当当地域会は、TKC東京中央会(東京23区)のほぼ中央に位置し、江戸時代から日本の中心として、豊かな歴史と伝統に生まれ、交通、教育、医療、情報等さまざまな面で利便性の高い街として発展してきた、まさに日本の要であります。主に千代田区の会員事務所を担当しています。TKC北海道会では、北海道センター(4年)→帯広センター(8年)→北海道センター(4年)→TKC営業本部FX4クラウド推進部(5年)を経験し、現在に至っています。

北海道会でお世話になった思い出で強く残っているのは、タイトルにした帯広センター勤務時代のことでした。おいしい食べ物が多くあり、今一度、食したいと考えています。そして、一番ハマったのは、帯広の会員先生方からお勧めいただいた「ゴルフ」ですね。ゴルフ場オープン最初のスタート組に「たまたま」入り、写真入りで、地元の新聞に載ってしまいました。東京では、練習場やコースも遠く、さっぱりラウンドしていません。

さて、TKC東京中央会では、会員事務所および関与先企業のDX化を支援するため、FX4クラウドというシステムを、DX化を実現するための一つの道具として、いかにして活用するかについて、会員事務所および関与先企業に説明し、導入の意思決定



していただいております。

当地域の関与先企業が、導入の採用として挙げられる機能の第一位は、Excelファイルからの仕訳計上機能です。経費精算などのシステムを使っても、Excelで集計確認して、支払データに流用したり、仕訳を計上されています。

第二位は、他社販売システムから出力される売上データを読み込み仕訳計上する機能です。併せて、入金や支払の消し込みのため、FinTech機能となります。

そして、第三位の要因として、(仕訳計上した結果を集計するための)マネジメント・レポート設計ツールとなります。コロナ禍で少しでも利益を確保するため、複数のセグメントで集計し戦略を考える企業が増加しています。部門別しかり、得意先別や、事業別など業種・業態で考えが違いますので、経営者の方と打合せするととても前向きで、楽しい仕事です。

コロナ禍の関係で、売上や限界利益などを自社の過年度と比較する上で、コロナ禍の時期と比較しても判断材料とならないため、3年以上前の事業年度と比較したいという、今特有の要求もあります。これは、FX2等では対応できませんので、ぜひ、FX4クラウド(10年保存)をまず初めに、導入のご提案をお願いします。

帰ってきた

第30回

札幌西支部 山谷 謙太

## けんたの業務日誌 支部長編



エスコンフィールドに行ってきました。

外観が見えてきただけでワクワクで、入場したら、フィールドがすぐ見えて更にワクワクになりました。1階から見ると選手がとても近く感じました。

更に飲食店もとてもおいしそうだし、その飲食店に並んでいる間もフィールドが見えるとても素敵な球場でした。

弊所では、社員の福利厚生とわたしの趣味で年間シートを購入しました。外野の2階で一番安いところですが、そこからの景色はこちら。



写真は、野球に興味がなく早く帰りたいと言っている4歳の息子と2歳の娘です。

【追伸】税制改正の講師や事業再構築補助金の事業計画を作成やらで、てんやわんやです。



令和	月	日	行事名
5	1	14	ニューメンバーズ・サービス委員会
5	1	14	会員増強プロジェクト
5	1	14	ニューメンバーズウィンターセミナー
5	1	16	正副会長会
5	1	16	釧路支部例会
5	1	24	理事会
5	1	24	新春講演会・新年交礼会
5	1	27	北海道農業経営研究会研修会
5	2	1	共済制度等推進委員会
5	2	3	帯広支部新年交礼会
5	2	3	小樽支部例会
5	2	9	正副会長会
5	2	9	システム委員会
5	2	10	資産活用委員会・積水部会
5	2	14	企業防衛正副委員長会議
5	3	2	広報委員会
5	3	23	50周年記念誌編集会議
5	3	23	広報委員会
5	3	28	北海道研修所会議

## 過去の『かいほう』が読めます。(214~248号)

「TKC北海道会」と検索するか、表紙または右のQRコードからアクセスしてください。  
(広報委員会)



## 塩見 明 (札幌東支部)

令和4年9月入会

事務所住所  
〒060-0002  
札幌市中央区北2条西2丁目4  
マルビル7階  
塩見明税理士事務所

### プロフィール

- 出身地 / 北広島市
- 前職 / 税理士事務所
- 趣味特技 / 晩酌
- 夢・ひとこと / お客様のお役に立てるよう、諸先生を見習って精進していきたいと思っております。よろしくお願いたします。



## 坂井 崇晃 (札幌東支部)

令和5年3月入会

事務所住所  
〒001-0031  
札幌市北区北31条西4丁目1番2号  
税理士法人日本アシスト会計

### プロフィール

- 出身地 / 旭川市
- 前職 / 大原学園札幌校
- 趣味特技 / スポーツ観戦
- 夢・ひとこと / まだまだ未熟ではありますが、皆さま、ご指導よろしくお願いたします。



## 鶴間 光 (小樽支部)

令和5年3月入会

事務所住所  
〒047-0021  
小樽市入船4丁目5番5号  
戸井三雄税理士事務所

### プロフィール

- 出身地 / 小樽市
- 前職 / なし
- 趣味特技 / ギターとサウナ
- 夢・ひとこと / 未熟者ではありますが会員の皆さまからご指導をいただきながら、社会貢献していきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。



## 編集後記 editor's note 羊ヶ丘のふもとから〇〇を叫ぶー編集後記に代えてー

今年の確定申告は大変だった。コロナ延長もなく、少し引き受けすぎた。ようやくギリギリで終わった。それにしても、納税者は「税金」という未確認「生物」と日夜戦って(領収証を集めて)いる。

隊長:今度こそ、この未知なる生物(税金)との戦い(確定申告)に決着をつけてやる。

そのために準備は進めてきた! 今日こそ秘密兵器をお見舞いしてやれ。

隊員A:まずは、こいつを食らわしてやりましょう。「お品代」攻撃だ。それー。それー。

隊員B:あれっ? あいつには全然効き目がないようです。レシートが出るのにわざわざ店員さんをお願いして領収証出してもらったのに。今度は「ユニフォーム代」とでも書いてもらいましょうか。

隊員A:そうか、これはダメだったか。じゃ、今後は「飲食代」攻撃なら、やつも弱るでしょう。発射します。どーん。どーん。どーん。連続で撃ってやる。

隊長:おい、効くどころか、あいつは元気になる一方だ。

隊員B:隊長これではだめです。「日曜日」「時間」「3人(家族の人数)」「お子様メニュー」、やつの大好物ばかりです。

隊長:そうか、そこは研究不足だったか。それではしょうがない、とっておきだ。「ガソリン代」の波状攻撃だ。それ行けー。

隊員A:一瞬効いているようにも見えたんですが、なんかやっぱり元気になっています。車一台なのに同じ日の同じ時間帯に何回も、油種も違い、そして支払方法も、クレジットカードも違う、やっぱりこれもやつの大好物でした。ああ、われわれは全滅するのでしょうか、隊長―――!

っていうか、本業がんばれ!!

(広報委員長 坂本 文彦)